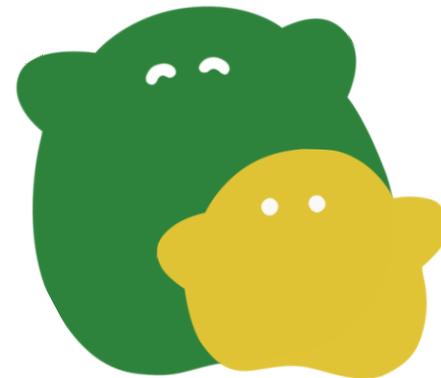
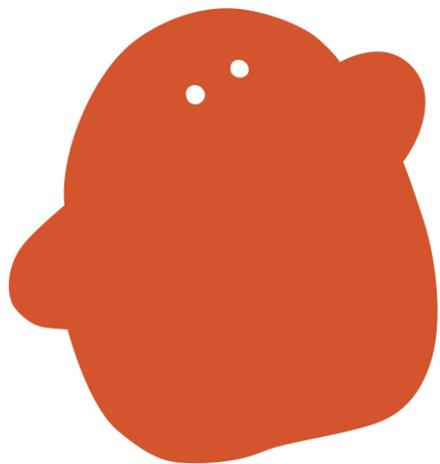




アイ
フル



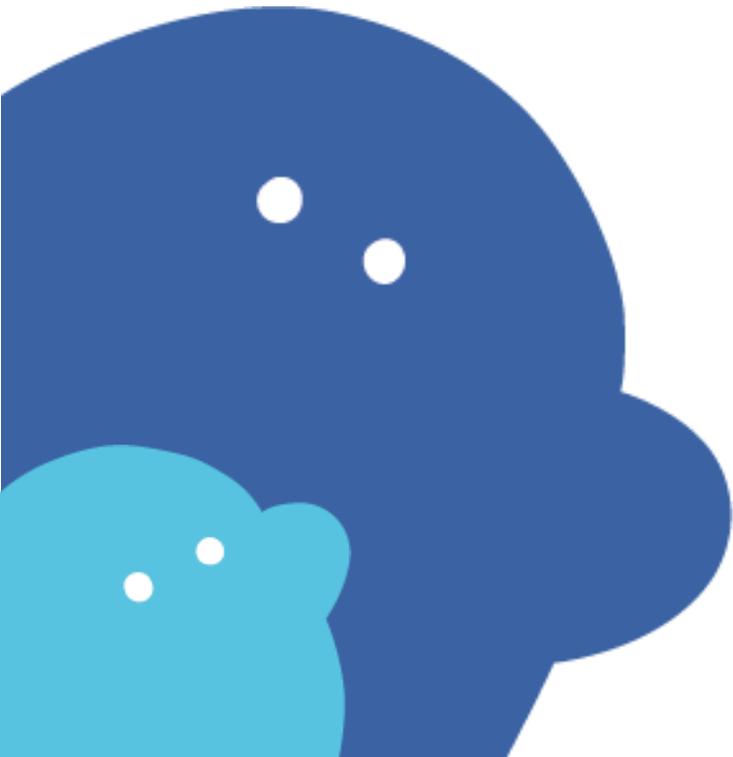
2026年3月期 第2四半期
決算プレゼンテーション資料



①	トップメッセージ	03 - 14
②	連結決算概況	15 - 19
③	アイフル決算概況	20 - 28
④	グループ各社決算概況	29 - 37
⑤	参考資料	38 - 45

(参考) 中期経営計画

<https://www.aiful.co.jp/group/ir/pdf/MP2024.pdf>



① トップメッセージ



【連結】2026年3月期 第2四半期

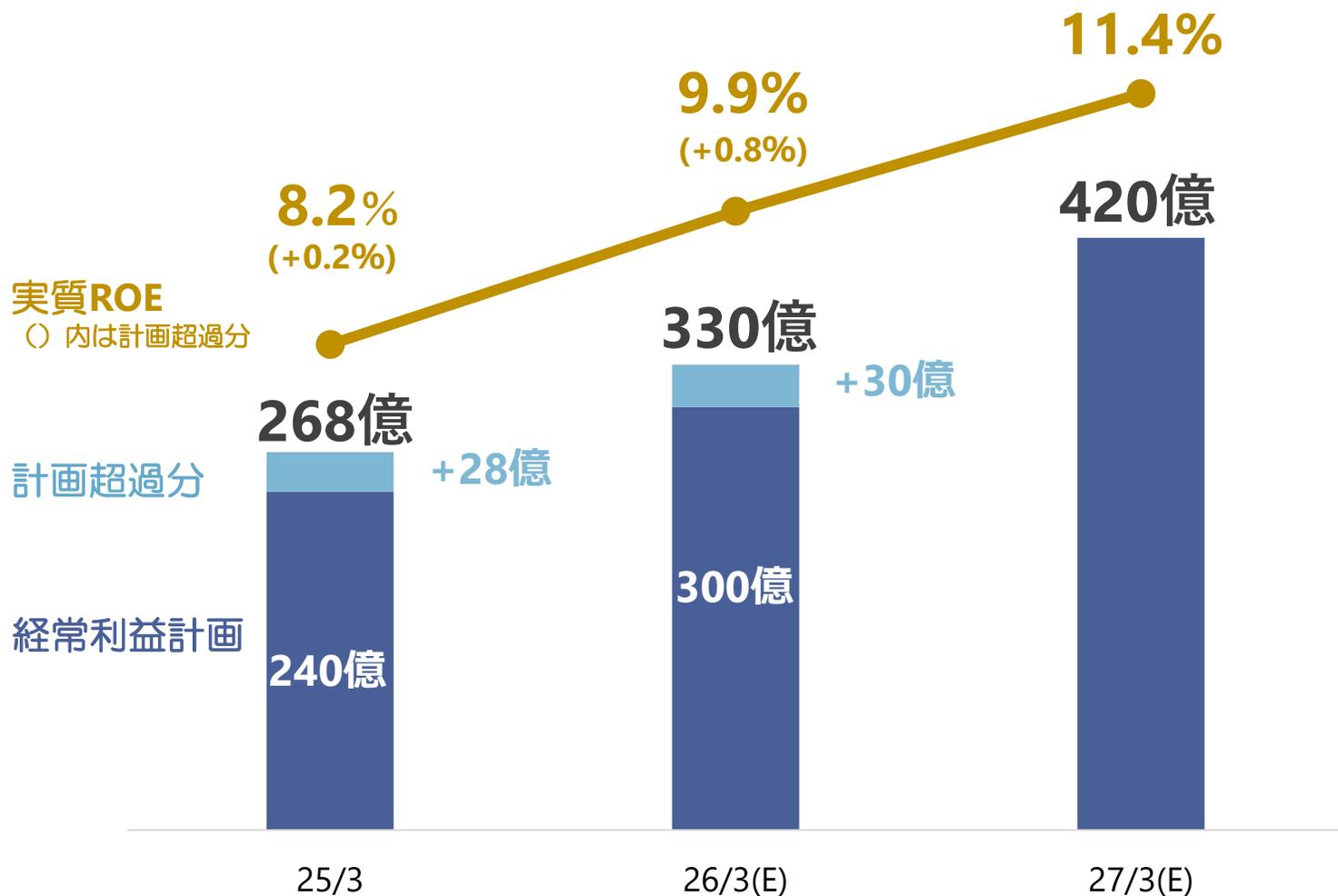


- 主力事業が好調に推移し、営業債権残高・営業収益は2桁成長を継続
- クレジットコストの安定により、計画を上回る利益を計上
- 通期業績予想、経常利益を330億に上方修正

(億円)	24/9	25/9	YoY	期初 26/3(E)	修正後 26/3(E)	修正計画 差異
営業債権残高	12,538	14,252	13.7%	14,930	15,415	+485
営業収益	912	1,044	14.4%	2,107	2,135	+28
営業利益	90	167	84.9%	295	323	+28
経常利益	97	164	69.6%	300	330	+30
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	126	76.1%	238	276	+38
調整後営業利益*	167	213	27.8%	445	481	+36

*調整後営業利益の定義：①営業利益 + ②（貸倒関連費用+利息返還関連費用+減価償却費-貸倒損失）+連結対象除くM&A利益（M&A利益は個社営業利益（のれん償却未考慮））

【連結】中期経営計画の進捗（経常利益）



3年累計経常利益

960億

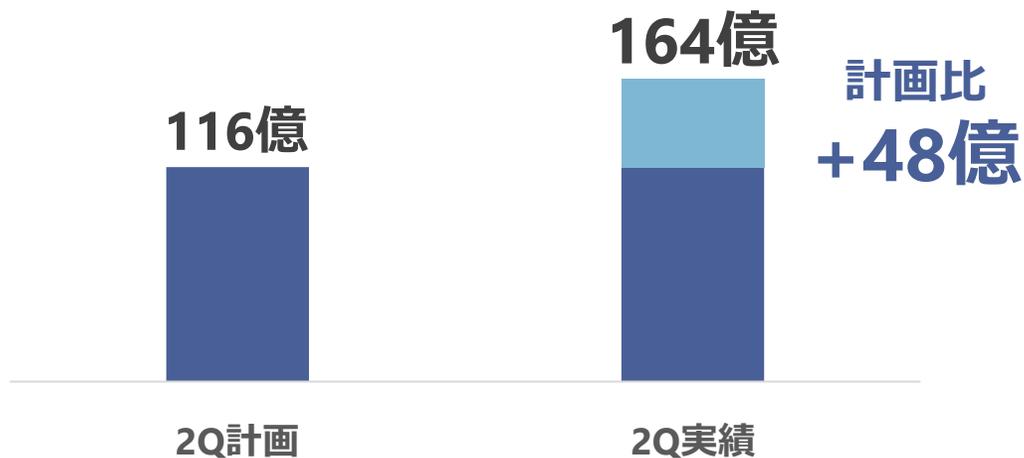
→ **1,018億(+58億)**

最終年の420億に向けて、
達成確度はさらに高まった

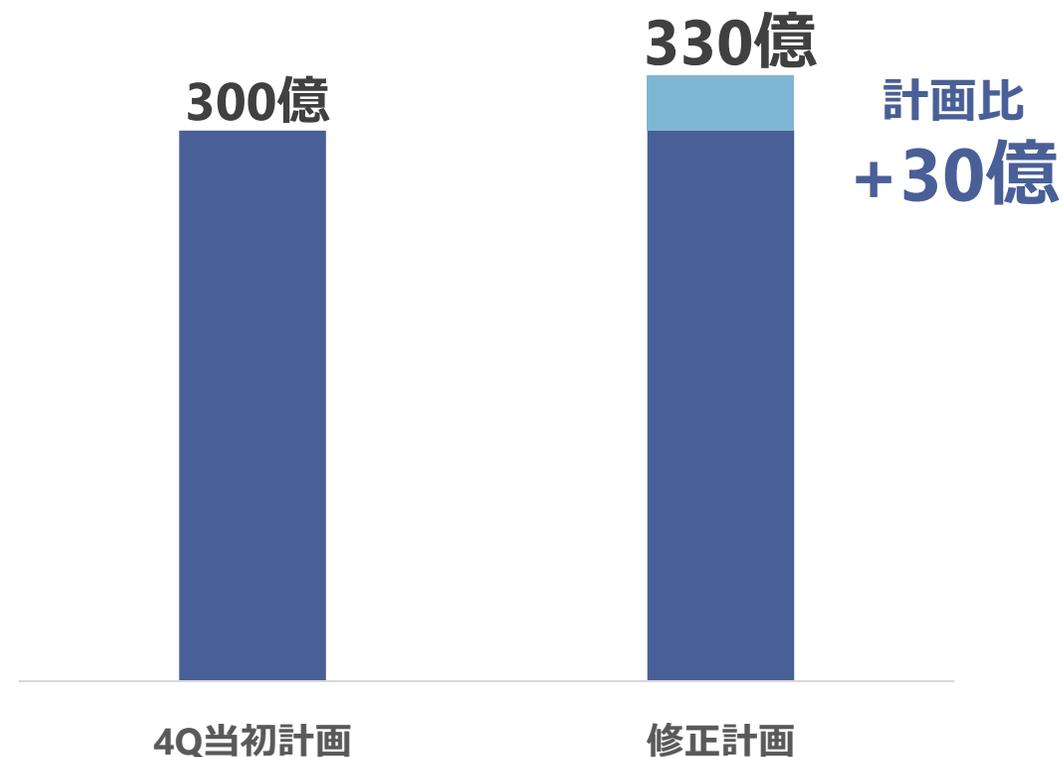
【連結】2026年3月期計画の進捗（経常利益）

- 2Q計画に対して、ローン事業の残高伸長により営業収益が増加、営業費用は一般管理費が減少
- 好調な営業面を踏まえ、営業収益・営業費用の4Q計画を修正（修正計画の詳細は16ページ参照）

2Q 計画/実績比較



4Q 当初計画/修正計画比較





【連結】決算概要・通期計画（残高・収益）

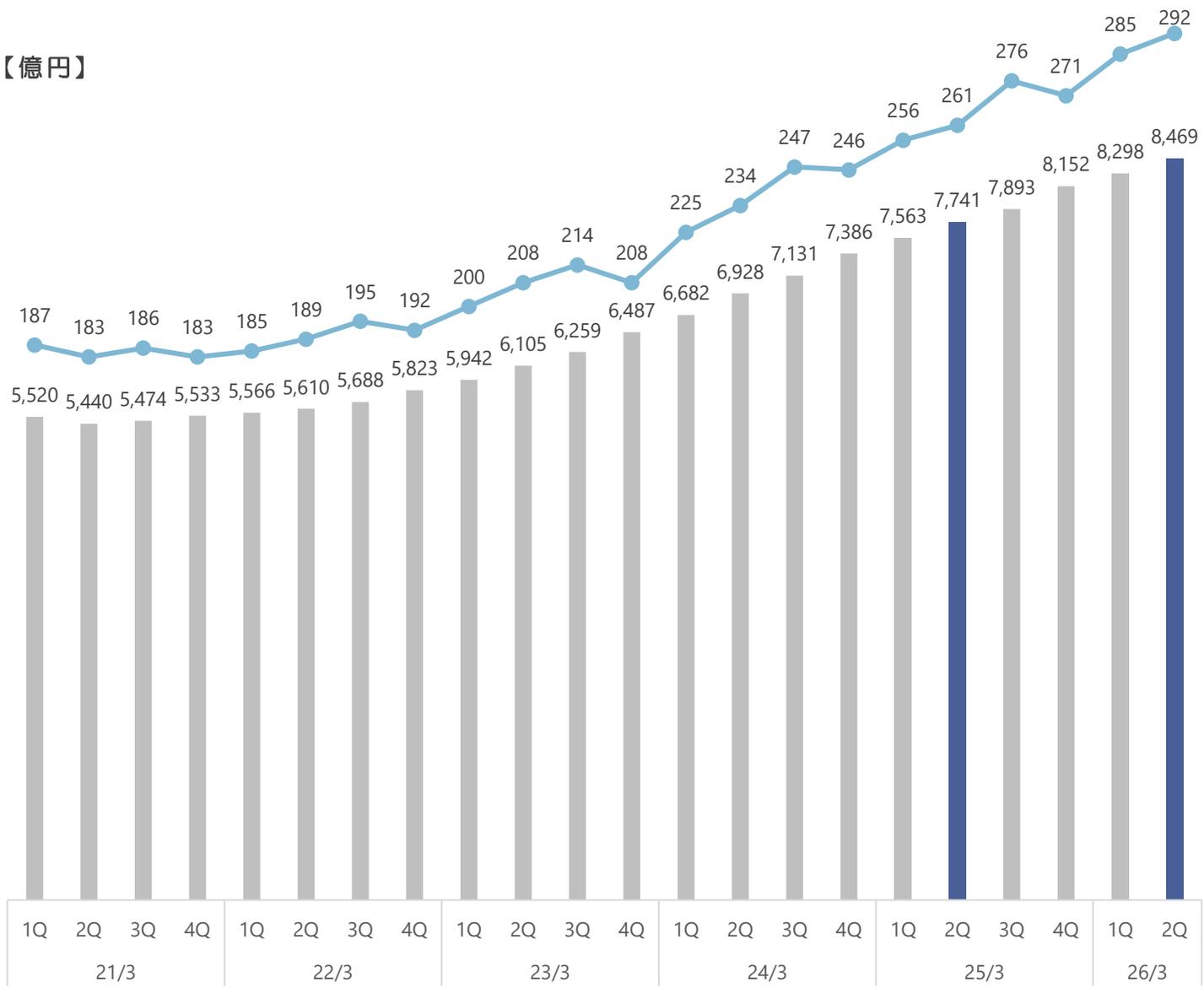


（億円）	24/9	25/3	25/9	YoY	期初 26/3(E)	修正後 26/3(E)	修正計画 差異
営業債権残高	12,536	13,397	14,252	13.7%	14,930	15,415	+485
ローン事業 （海外含む）	7,741	8,152	8,469	9.4%	8,789	8,827	+38
クレジット事業 （クレジットカード・個品）	1,880	2,033	2,180	16.0%	2,368	2,457	+89
信用保証事業	2,638	2,916	3,297	25.0%	3,411	3,784	+373
その他事業	276	294	304	10.3%	360	346	-14
営業収益	912	1,890	1,044	14.4%	2,107	2,135	+28
ローン事業 （営業貸付金利息）	518	1,065	578	11.6%	1,158	1,169	+11
クレジット事業 （信用購入あっせん収益）	145	301	158	9.5%	346	338	-8
信用保証事業 （信用保証収益）	104	215	116	12.2%	236	240	+4
その他事業	145	307	190	31.3%	366	386	+20



【連結】ローン事業（残高・収益）

【億円】



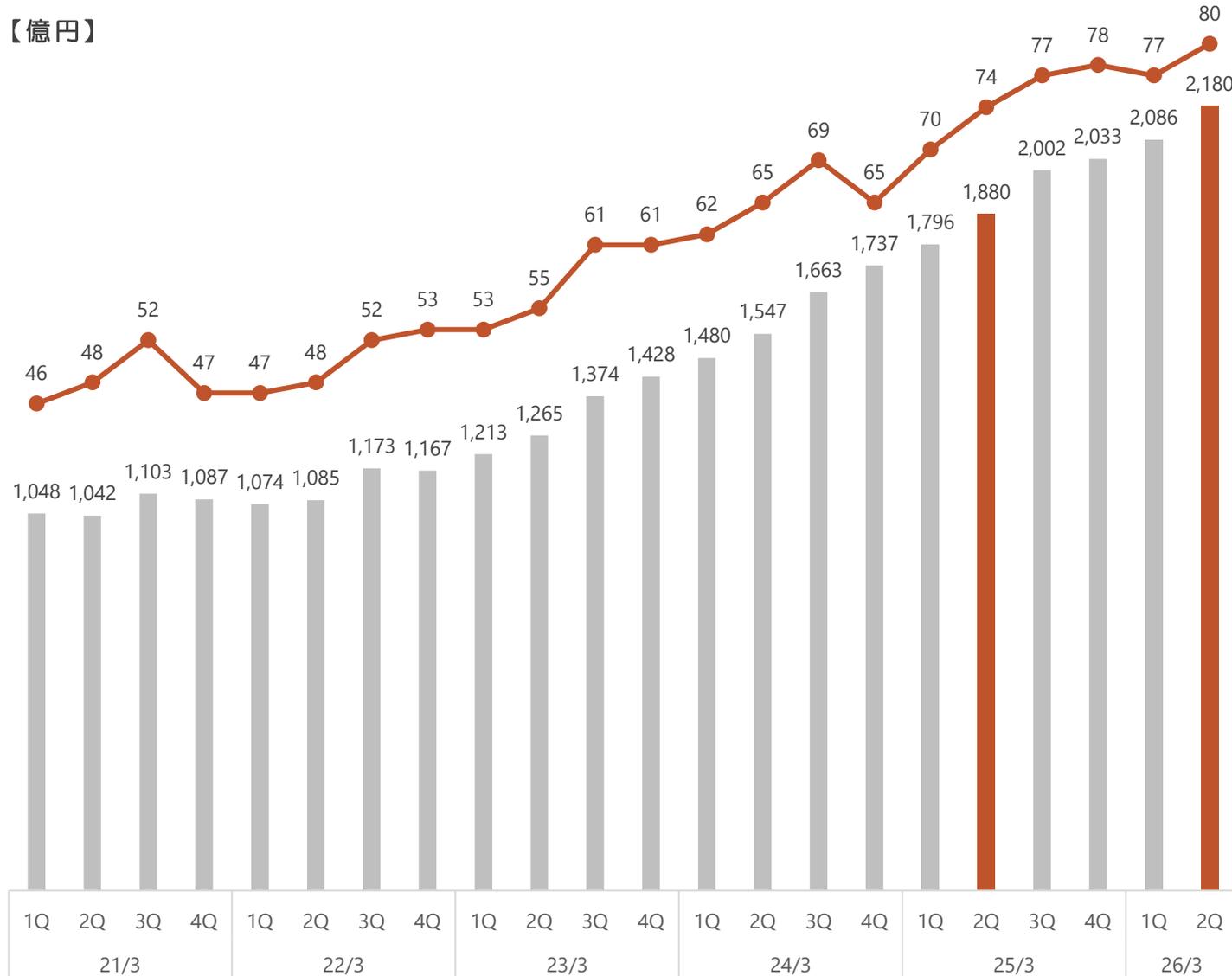
ローン残高
8,469億 (YoY+9.4%)

ローン収益
292億 (YoY+12.0%)



【連結】クレジット事業（残高・収益）

【億円】



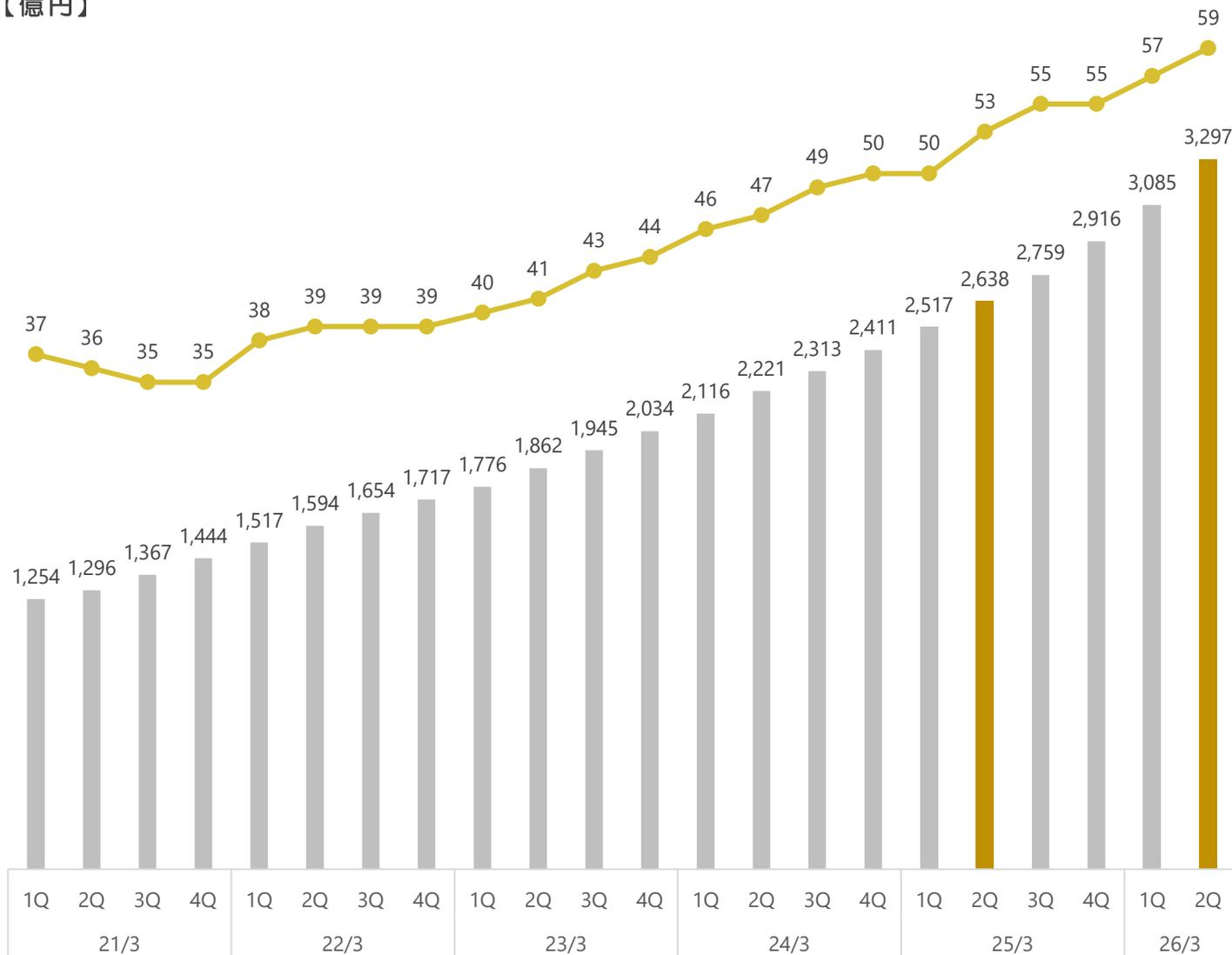
クレジット残高
2,180億 (YoY+16.0%)

クレジット収益
80億 (YoY+8.7%)



【連結】保証事業（残高・収益）

【億円】



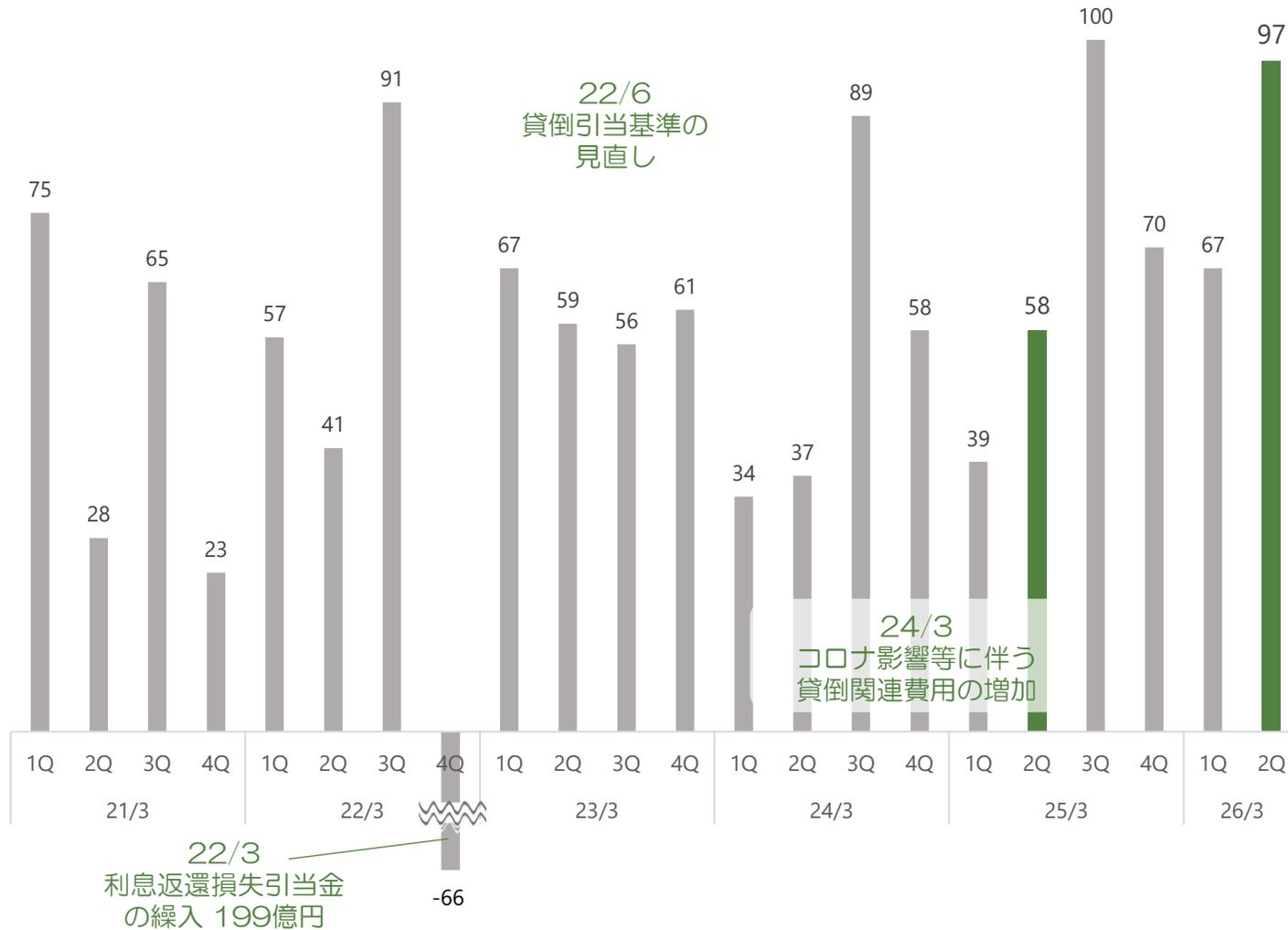
保証残高
3,297億 (YoY+25.0%)

保証収益
59億 (YoY+11.3%)



【連結】 経常利益

【億円】

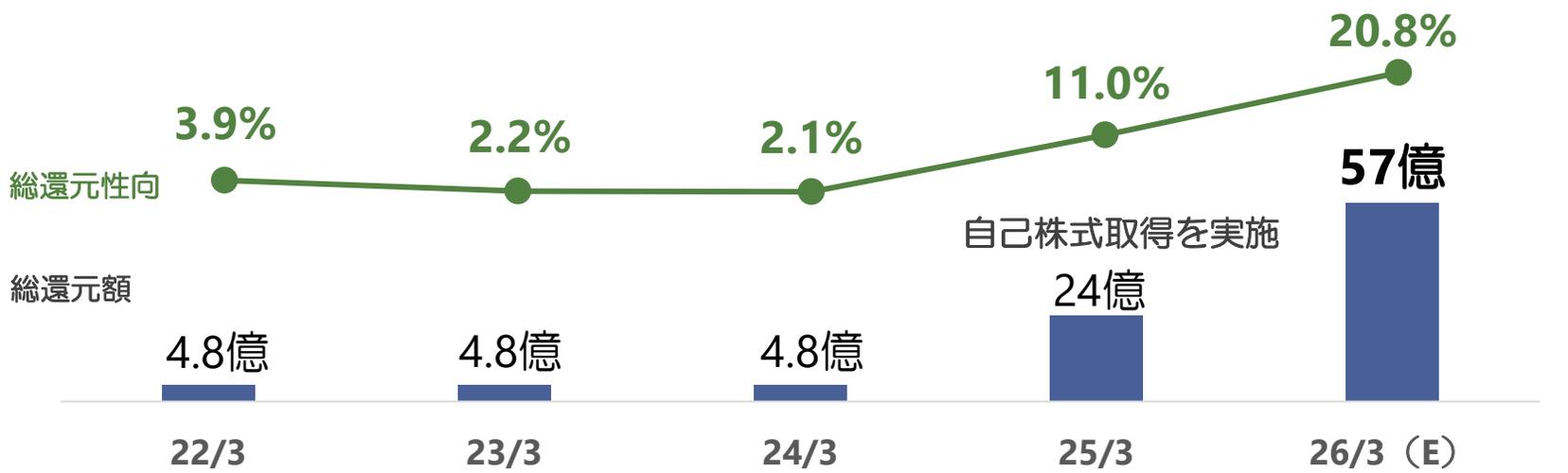


経常利益

97億 (YoY+67.5%)

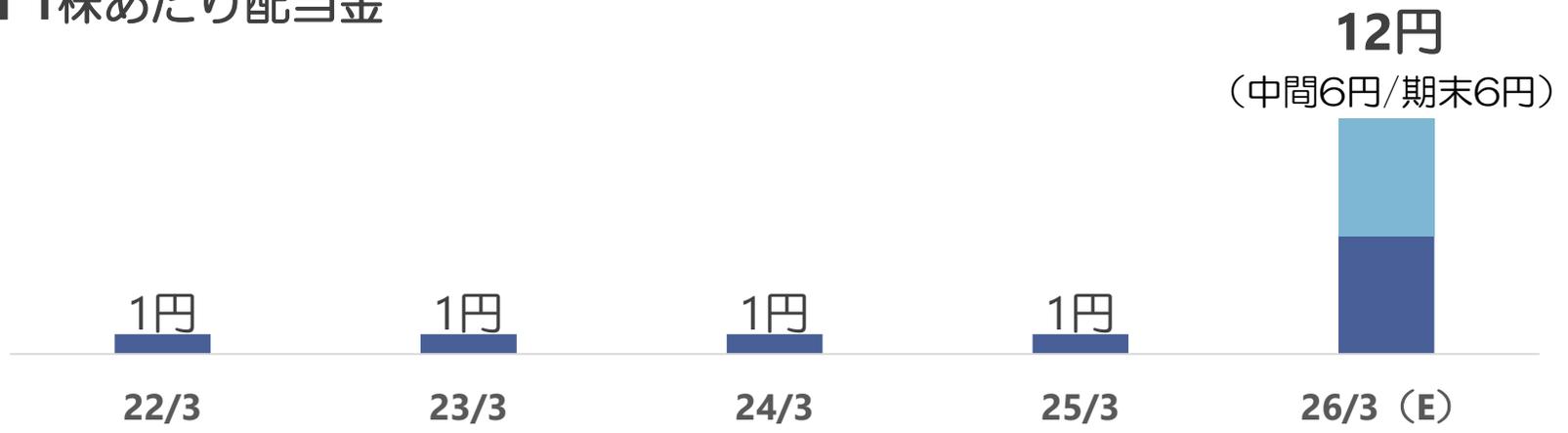
株主還元

■ 総還元性向



総還元性向
20%程度予定

■ 1株あたり配当金

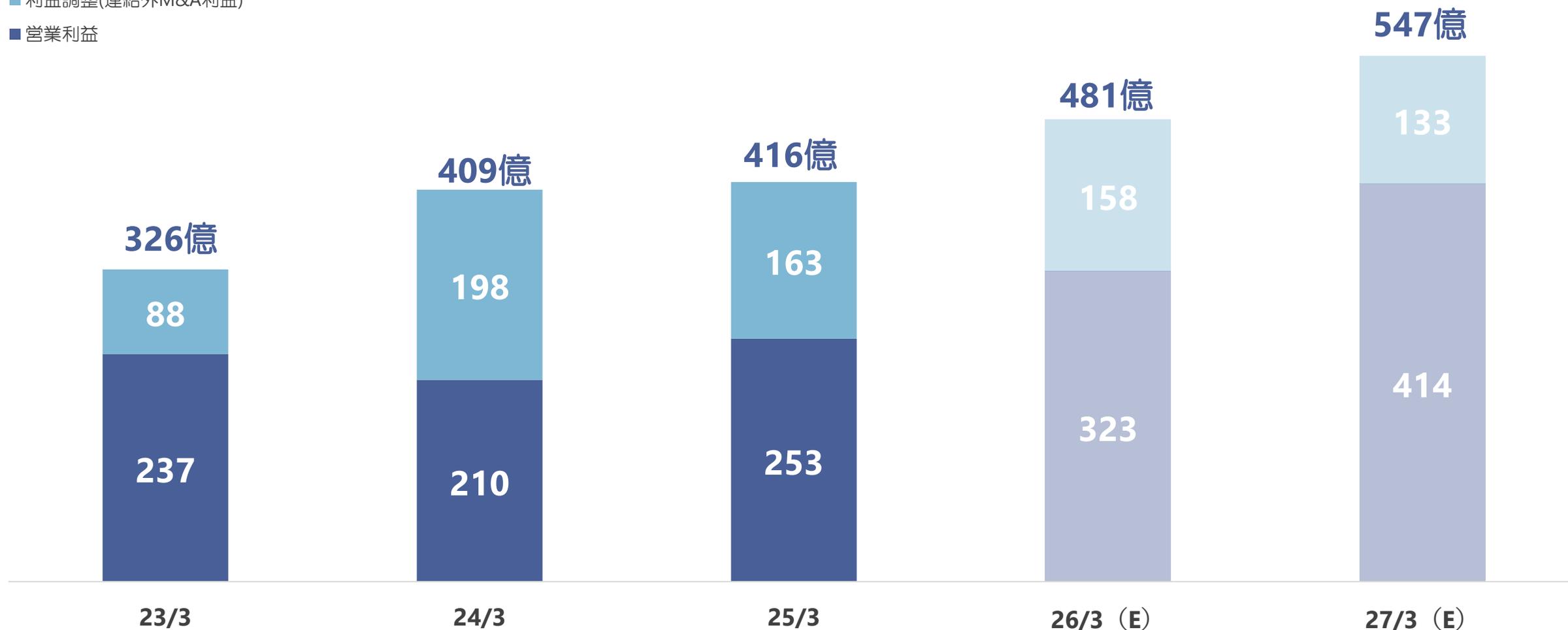


中間配当
2025年12月予定

調整後営業利益の推移

会計影響を除いた実態ベースの利益*

- 利益調整(連結外M&A利益)
- 営業利益



利益調整の計算定義：①（貸倒関連費用＋利息返還関連費用＋減価償却費－貸倒損失）＋②連結対象除くM&A利益（M&A利益は個社営業利益（のれん償却未考慮））

トピックス

① 連結範囲の変更

- 第二四半期より、SES 2社を新たに連結子会社化
⇒今期は計6社を連結子会社化（中間持株会社 1社とSES 5社）



② JPX日経400選定

- 2025年度の構成銘柄に選定



③ 統合報告書の発行

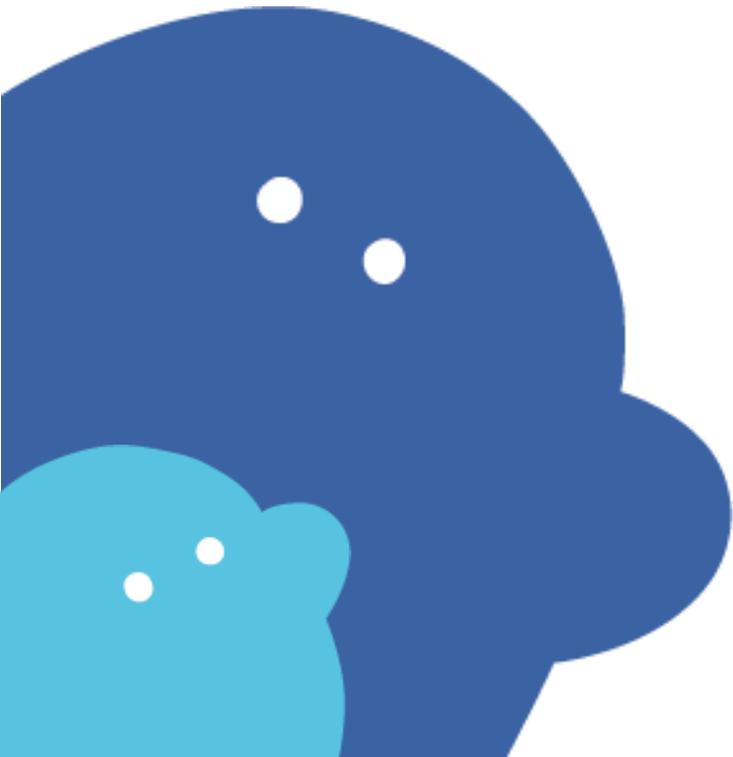
- グループ初の統合報告書を発行
『わくわく、出会い広がる』をコンセプトに制作



④ フィリピン共和国にて事業開始

- 2025年10月21日 スタート
個人・中小事業者向けファイナンス事業
（二輪・四輪担保ローン等）





2 連結決算概況

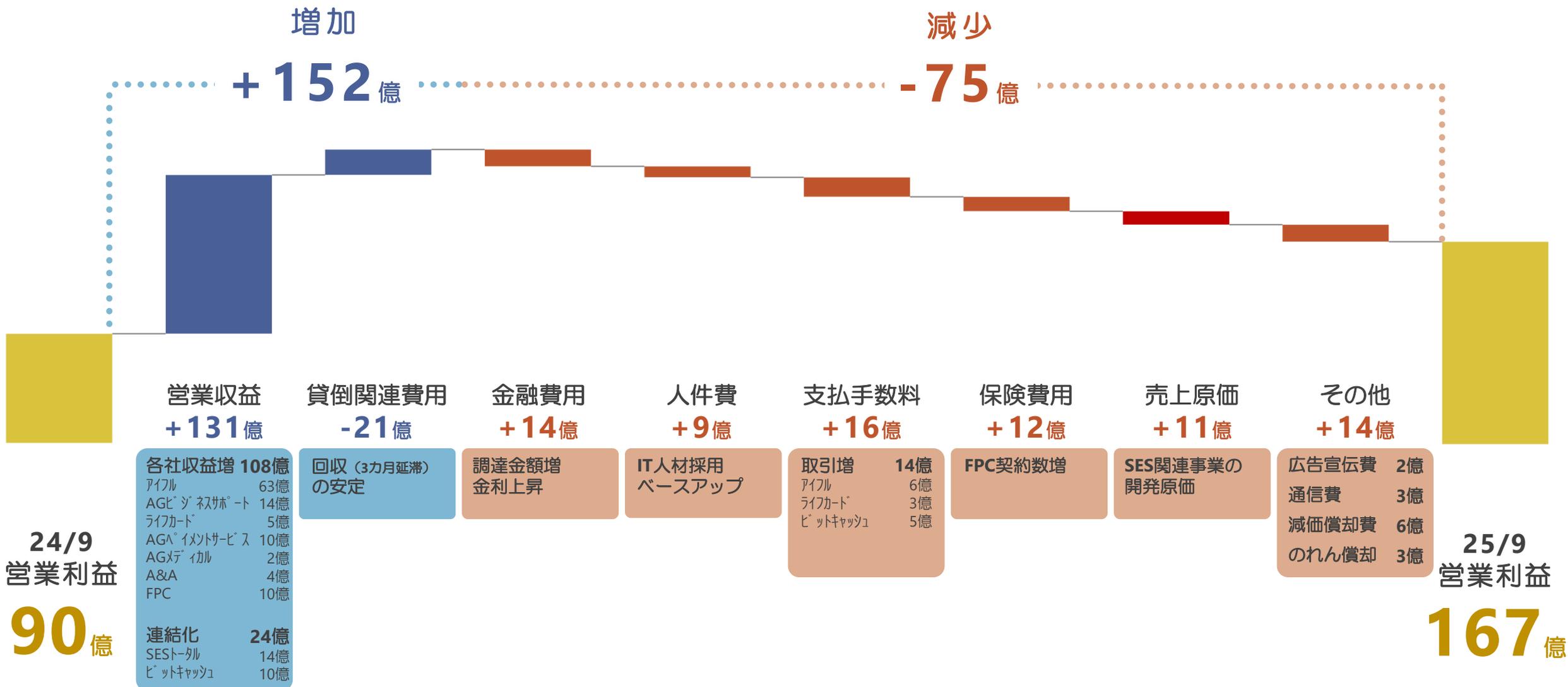
【連結】決算概要・通期計画（費用・利益）

（億円）	24/9	25/3	25/9	YoY	期初 26/3(E)	修正後 26/3(E)	修正計画 差異
営業収益	912	1,890	1,044	14.4%	2,107	2,135	+28
営業費用	822	1,637	877	6.7%	1,811	1,811	0
金融費用	44	95	58	31.6%	131	127	-4
貸倒関連費用	309	569	287	-7.0%	558	561	+3
利息返還関連費用	-	-	-	-	-	-	-
広告宣伝費	90	185	92	2.5%	200	200	0
人件費	105	216	115	9.0%	245	233	-12
その他費用（支払手数料・販売促進費等）	272	570	323	18.7%	675	688	+13
営業利益	90	253	167	84.9%	295	323	+28
経常利益	97	268	164	69.6%	300	330	+30
特別損失	15	25*1	2*2	-87.0%	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	71	225	126	76.1%	238	276	+38

*1 アイフル基幹システム関連及びフィッシング詐欺等の特別損失を計上

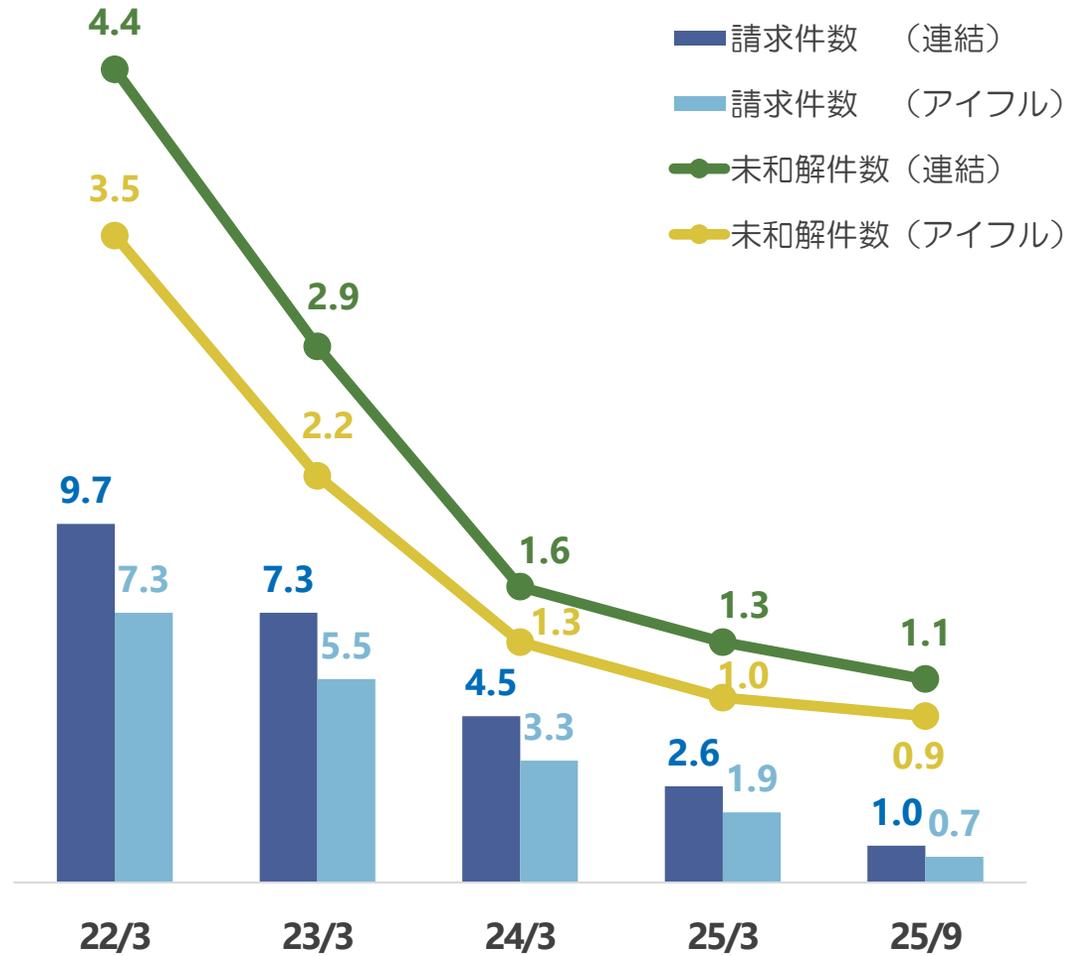
*2 A&Aの固定費削減等にかかる事業構造改善費用として特別損失を計上

【連結】営業利益 差異要因 (26/3 2Q 前年同期比)

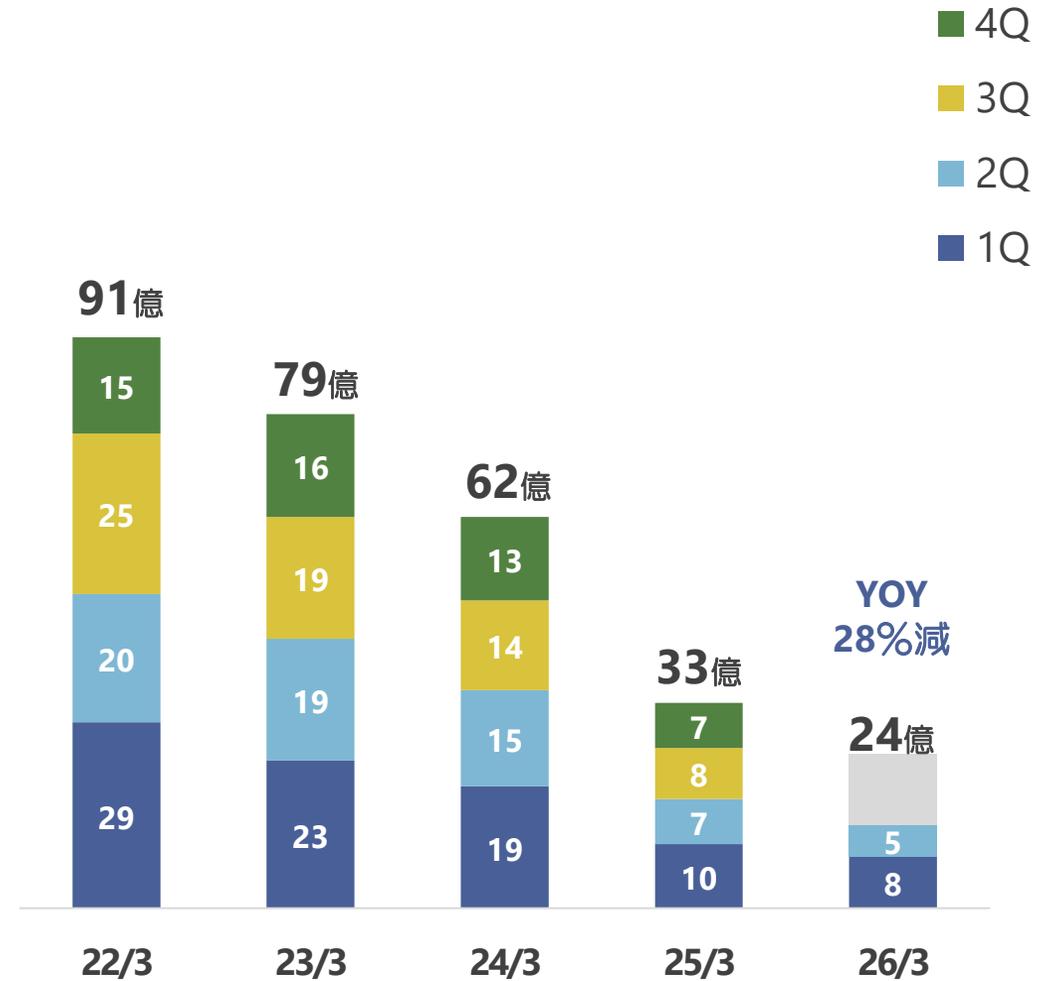


【連結】利息返還の推移（足元の状況）

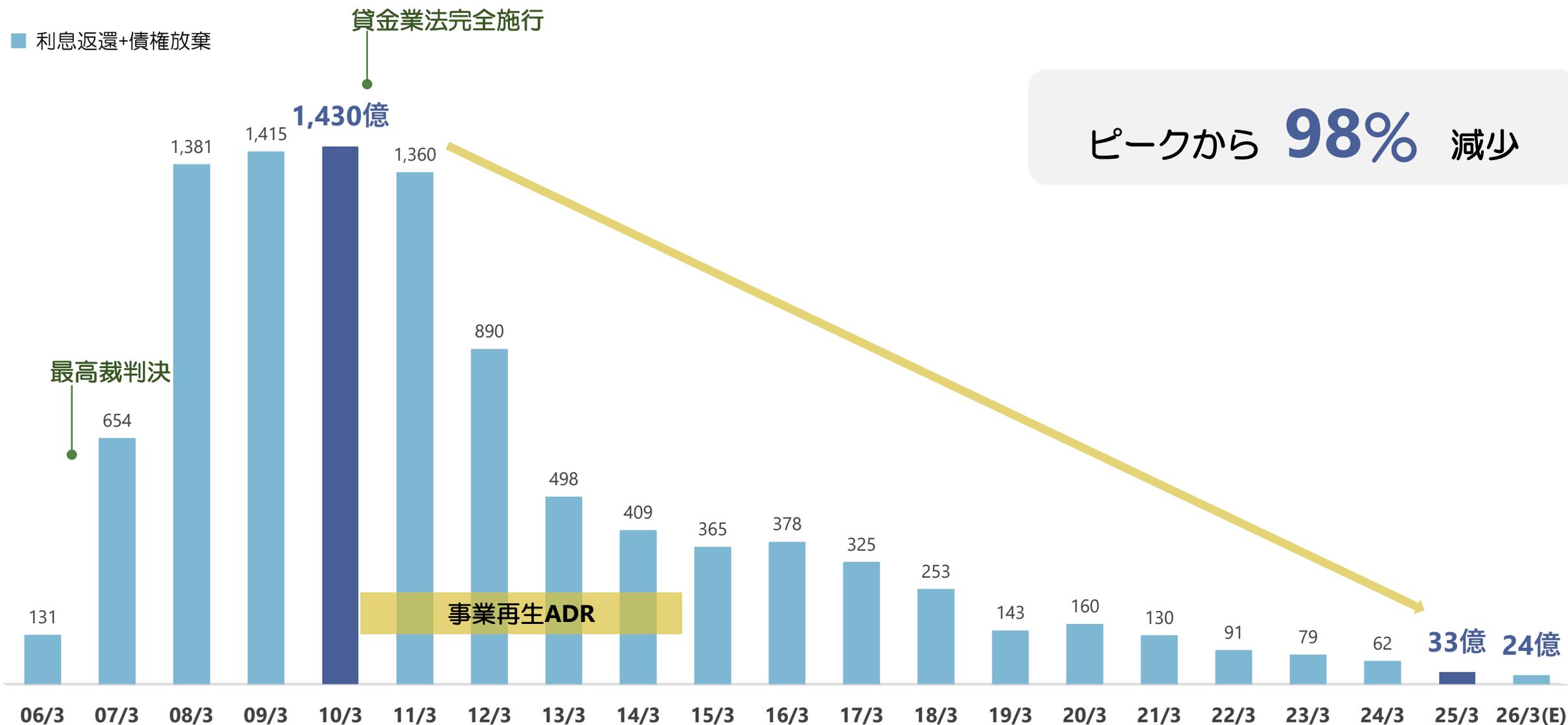
利息返還請求件数（千件）



発生額・取崩額（連結）



【連結】利息返還の推移





③ アイフル決算概況

【アイフル】 営業実績・通期計画



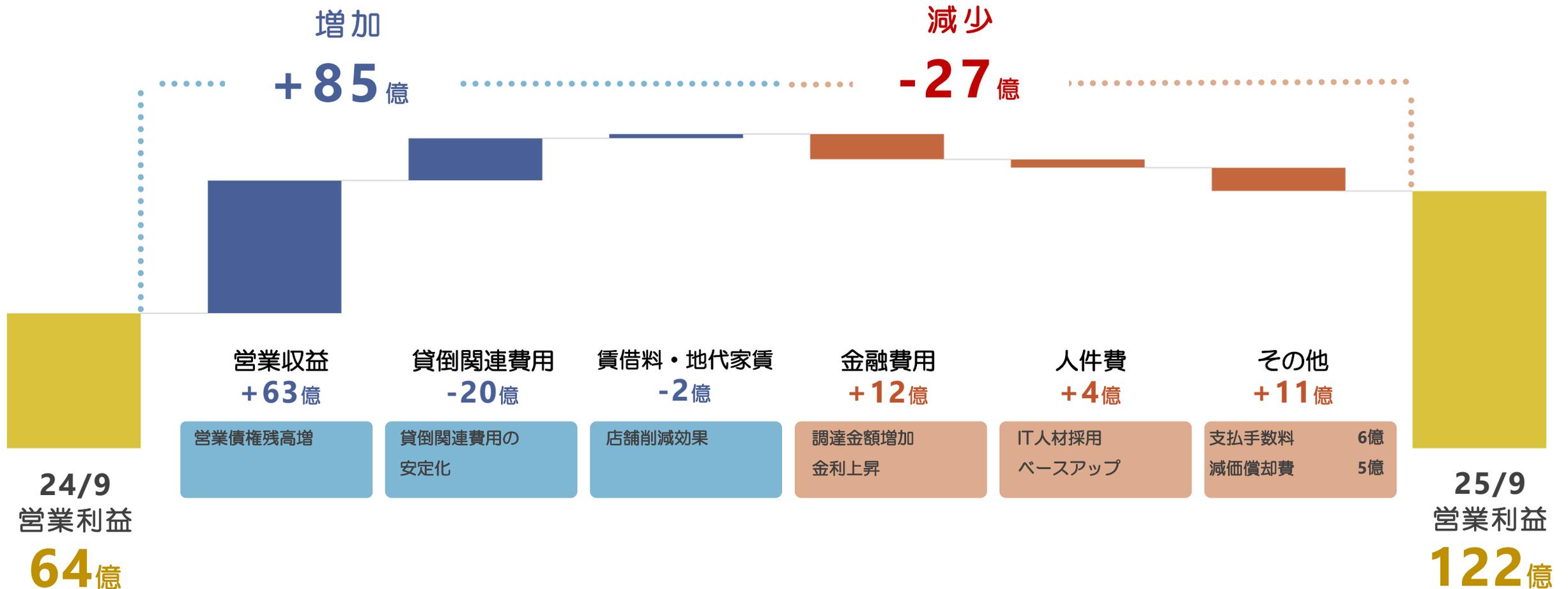
(億円)	24/9	25/3	25/9	YoY	期初 26/3(E)	修正後 26/3(E)	修正計画 差異
営業債権残高	8,378	8,948	9,595	14.5%	9,942	10,377	+435
ローン事業	5,862	6,142	6,397	9.1%	6,624	6,672	+48
信用保証事業	2,357	2,636	3,019	28.1%	3,127	3,510	+383
新規顧客件数 (千件) (個人向無担保ローン)	172	325	153	-11.1%	311	313	+2
貸付量	1,434	2,905	1,536	7.1%	-	-	-
新規顧客	260	495	237	-8.8%	-	-	-
既存顧客	1,174	2,409	1,298	10.6%	-	-	-
貸倒損失額	174	283	175	0.8%	306	298	-8
貸倒率	2.1%	3.2%	1.8%	-0.3Pt	3.1%	2.9%	-0.2Pt

【アイフル】 決算概要・通期計画



(億円)	24/9	25/3	25/9	YoY	期初 26/3(E)	修正後 26/3(E)	修正計画 差異
営業収益	533	1,101	596	11.9%	1,190	1,205	+15
ローン事業（営業貸付金利息）	415	856	463	11.5%	925	933	+8
信用保証事業（信用保証収益）	78	161	90	15.2%	182	188	+6
債権譲渡益[連結相殺対象]	-	4	4	-	10	10	0
その他営業収益	39	78	38	-2.4%	72	73	+1
営業費用	468	897	474	1.3%	990	961	-29
金融費用	34	73	47	37.8%	108	101	-7
貸倒関連費用	205	351	185	-10.1%	362	355	-7
広告宣伝費	73	150	72	-1.5%	149	150	+1
人件費	58	119	63	7.4%	139	128	-11
その他費用	96	202	107	11.0%	230	225	-5
営業利益	64	203	122	88.2%	199	244	+45
経常利益	85	239	147	73.8%	242	287	+45
当期純利益	62	195	126	103.5%	203	268	+65

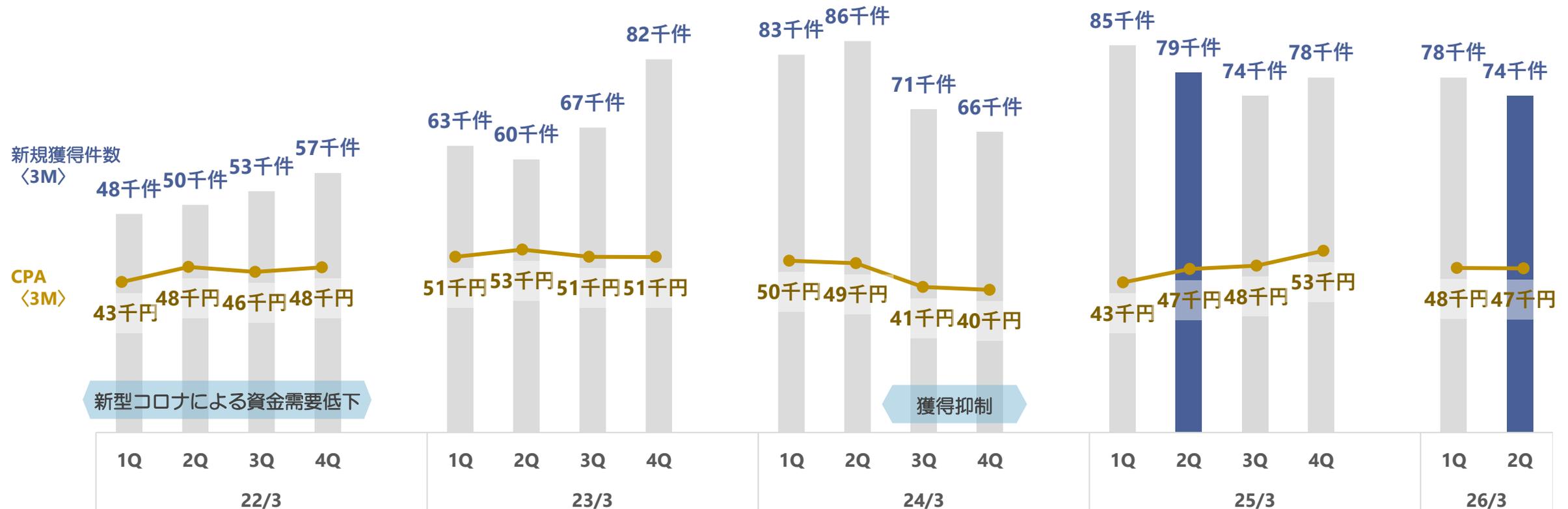
【アイフル】 営業利益 差異要因 (26/3 2Q 前年同期比)



【アイフル】個人向け無担保ローン事業/新規獲得件数の推移

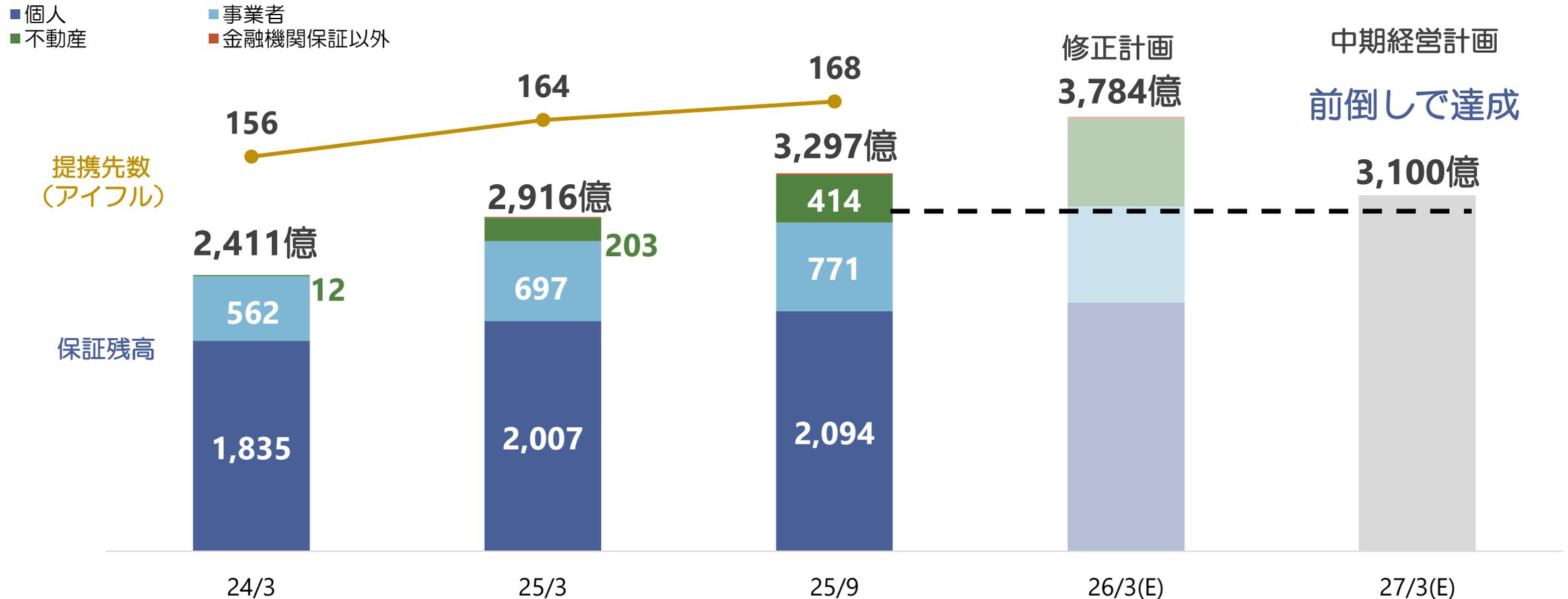
- 新規獲得件数の計画313千件に対して、計画進捗率は49%と順調に推移
- 1件あたり獲得単価（CPA）も45～50千の範囲でコントロール

新規獲得件数・CPA 推移



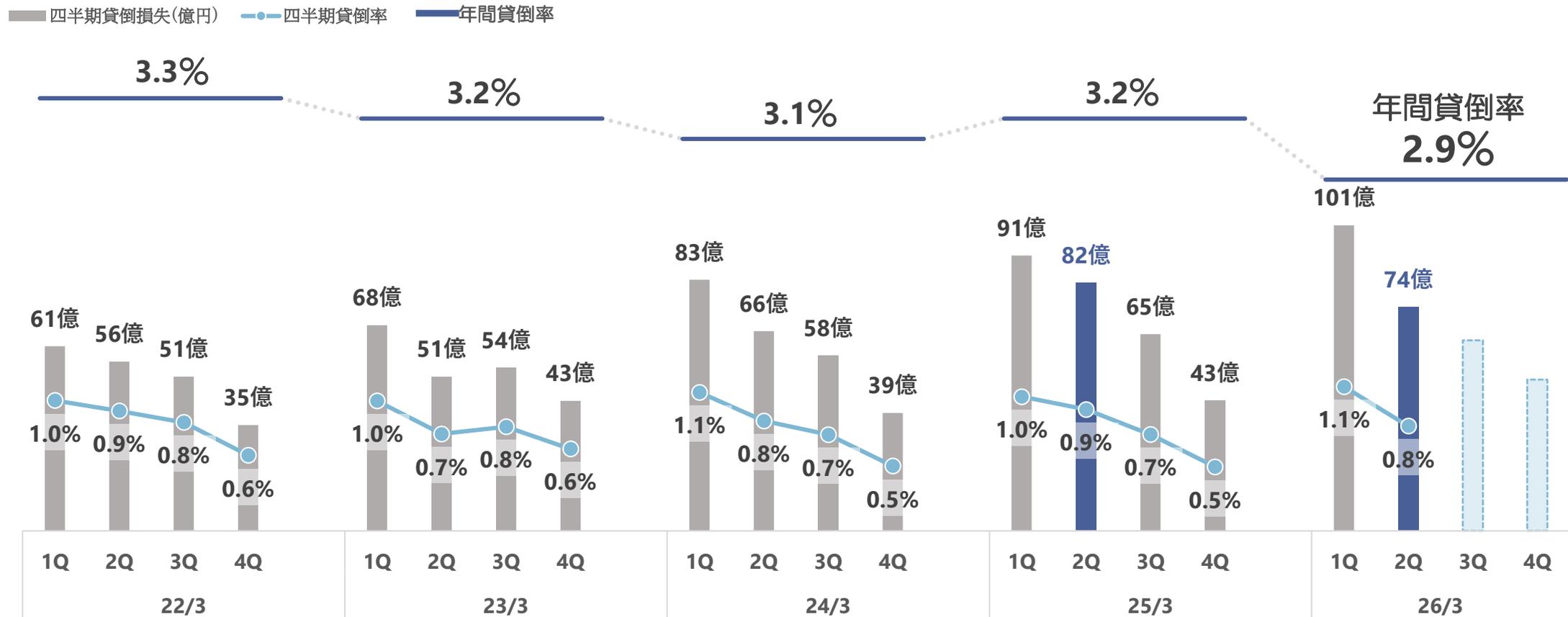
【アイフル（連結）】保証事業/保証残高の推移

- 提携先が順調に増加、保証残高は個人・事業者に加えて不動産が成長に寄与
- 中期経営計画の保証残高3,100億を前倒して達成、26/3期の修正計画は3,784億



【アイフル】 貸倒損失

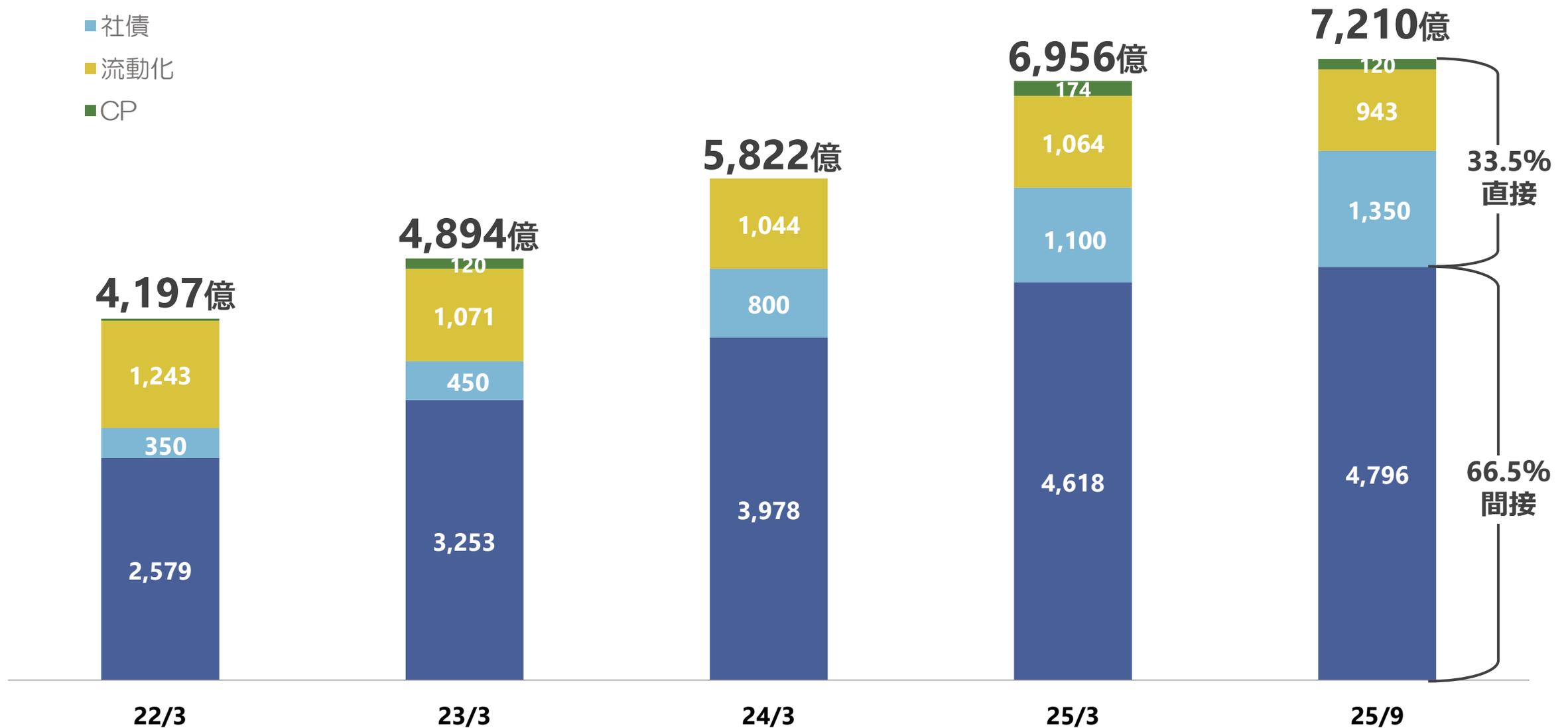
- 年間貸倒率は3%前半と低位安定で推移する見通し
- 期末に向かって回収が進み、四半期毎に発生する貸倒損失額は4Qに向けて減少





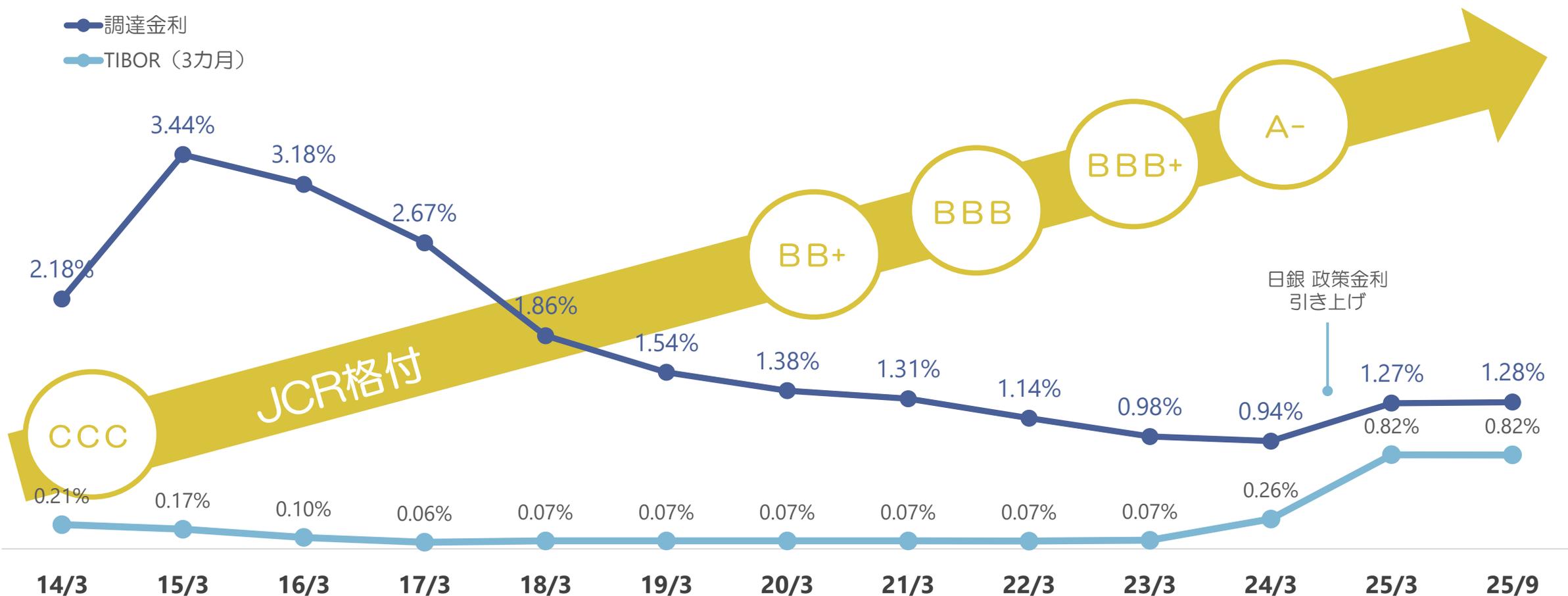
【アイフル】 資金調達金額

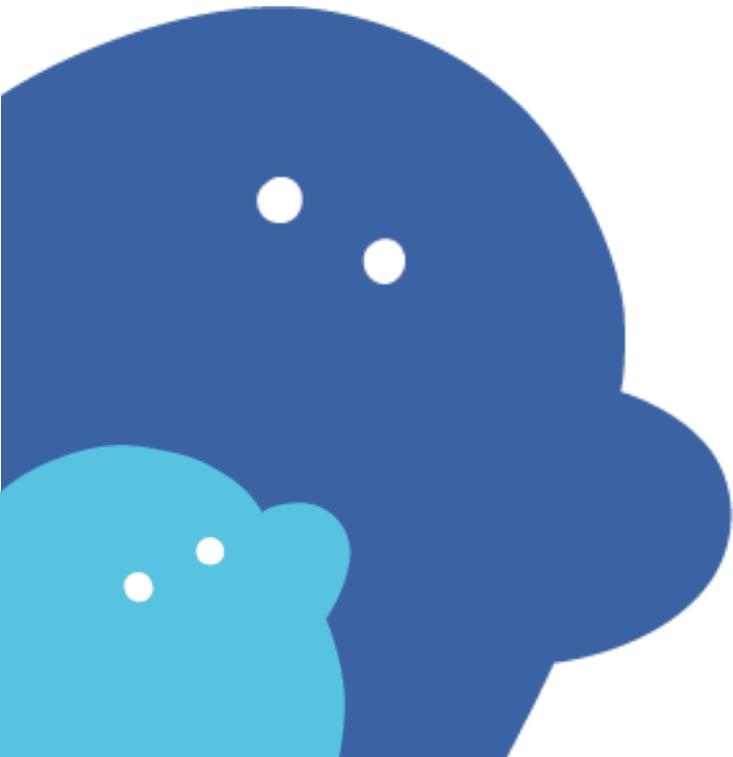
- 金融機関等
- 社債
- 流動化
- CP



【アイフル】 資金調達金利推移

外部格付 **JCR : A-**
(25/10末現在) **R&I : BBB+**



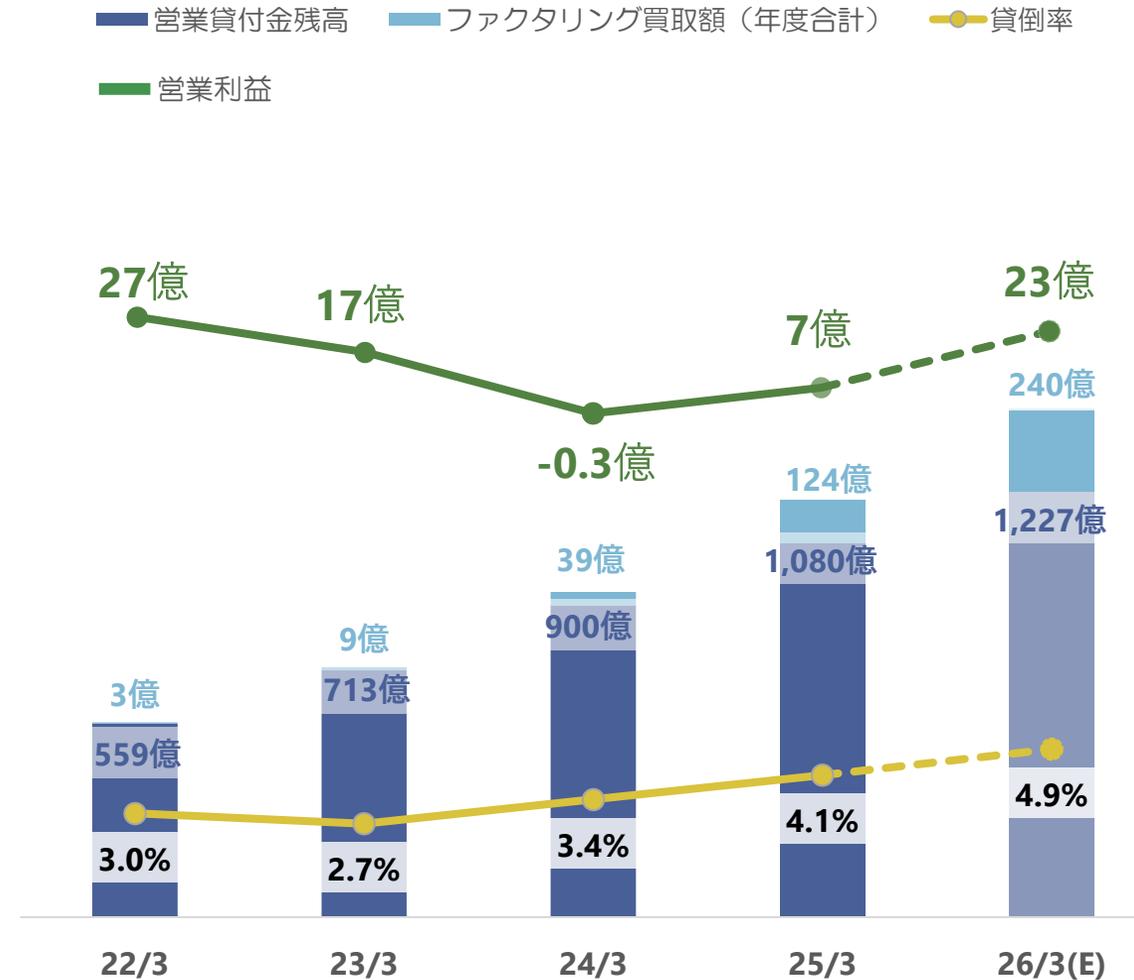


④ グループ各社決算概況

【ローン】AGビジネスサポート（有担保・事業性ローン/ファクタリング）

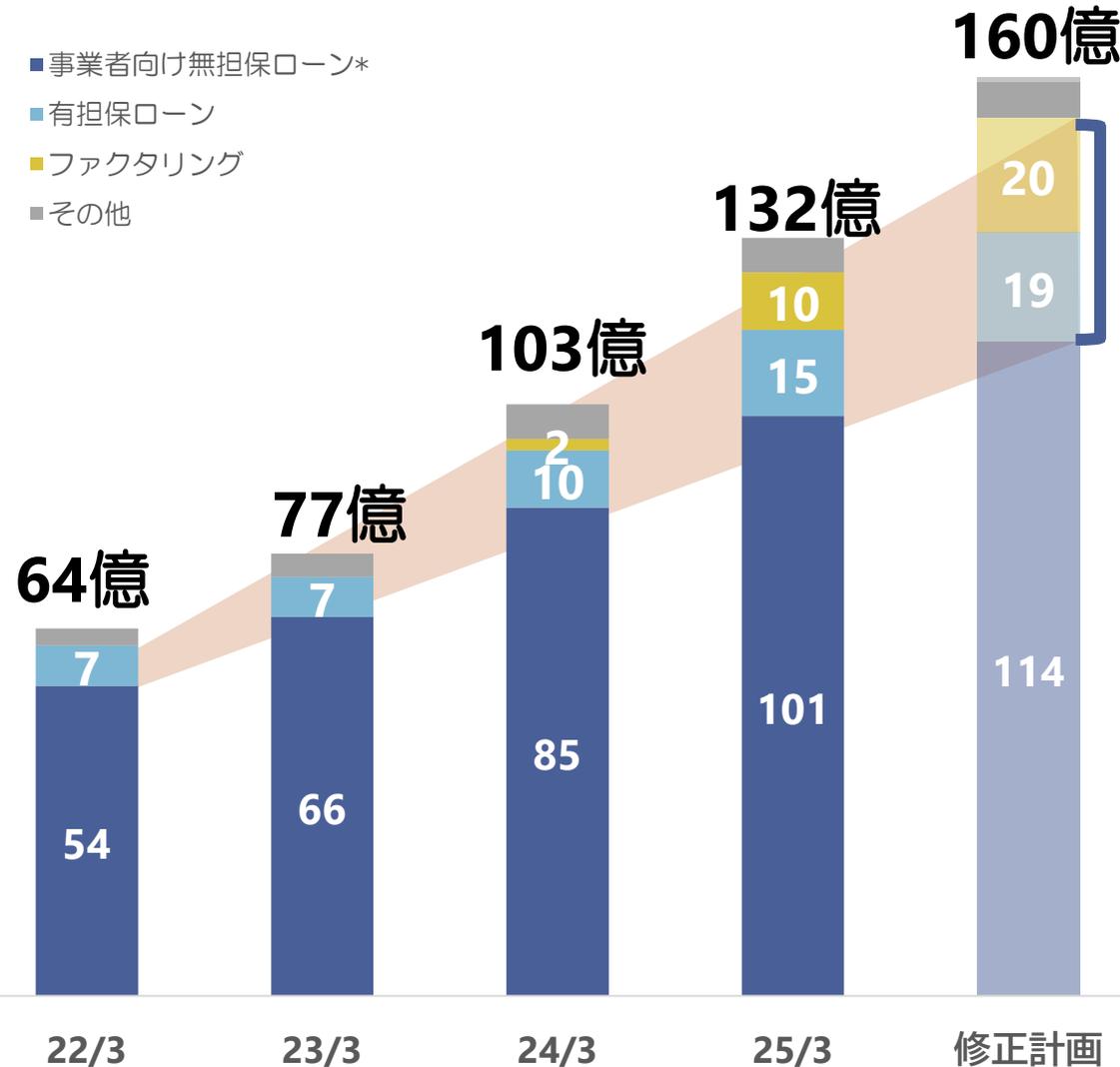
- 2Q計画に対して営業面、回収面いずれも順調に推移
- 期末に向けて貸倒関連費用の計上を織り込み、経常利益23億を見込む

(百万円)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
営業貸付金残高	99,184	108,009	115,518	16.5%	125,400	122,700
新規獲得件数（件）	5,266	10,348	4,939	-6.2%	9,600	10,000
口座数（千件）	37	39	41	12.9%	-	-
営業収益	6,247	13,285	7,715	23.5%	16,300	16,000
ローン収益	4,056	8,274	4,725	16.5%	-	-
ファクタリング収益	338	1,030	961	184.1%	-	-
営業利益	466	734	1,287	175.9%	2,900	2,300
経常利益	474	746	1,294	173.0%	2,900	2,300
当期純利益	153	534	703	356.7%	1,700	1,200



【ローン】AGビジネスサポート 収益ポートフォリオの変化

- 事業者向け無担保ローン*
- 有担保ローン
- ファクタリング
- その他



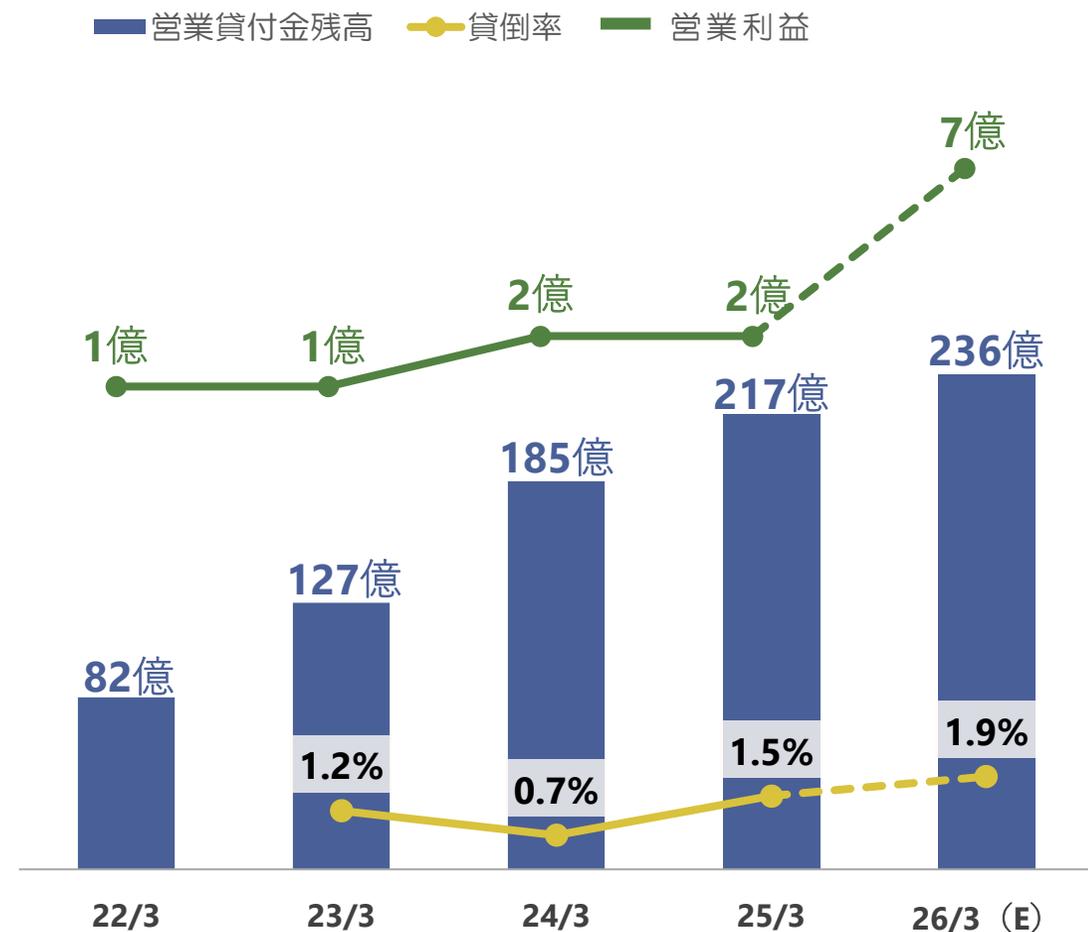
有担保ローン・
ファクタリングの収益占有
24% (YoY+5pt)

- ✓ 不動産担保ローン収益 (YoY 26.7%増)
 - ・ より安全性の高い商品
- ✓ ファクタリング収益 (YoY 100.0%増)
 - ・ 売掛金活用のニーズに対応する商品

【ローン】AGメディカル（診療報酬等担保ローン）

- 新規獲得件数・営業貸付金残高は順調、貸倒関連費用の低下で利益計画を大きく上回る進捗
- 修正計画では更に貸倒関連費用の低下を想定し、経常利益 7億を見込む

(百万円)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
営業貸付金残高 (有担保ローン)	19,512	21,756	22,800	16.9%	23,600	23,600
新規獲得件数（件） (有担保ローン)	197	422	215	9.1%	400	400
口座数（件）	1,098	1,239	1,354	23.3%	-	-
営業収益	859	1,772	1,018	18.5%	2,000	2,000
営業利益	160	279	388	142.2%	300	700
経常利益	159	279	388	143.1%	300	700
当期純利益	101	143	297	194.2%	200	400

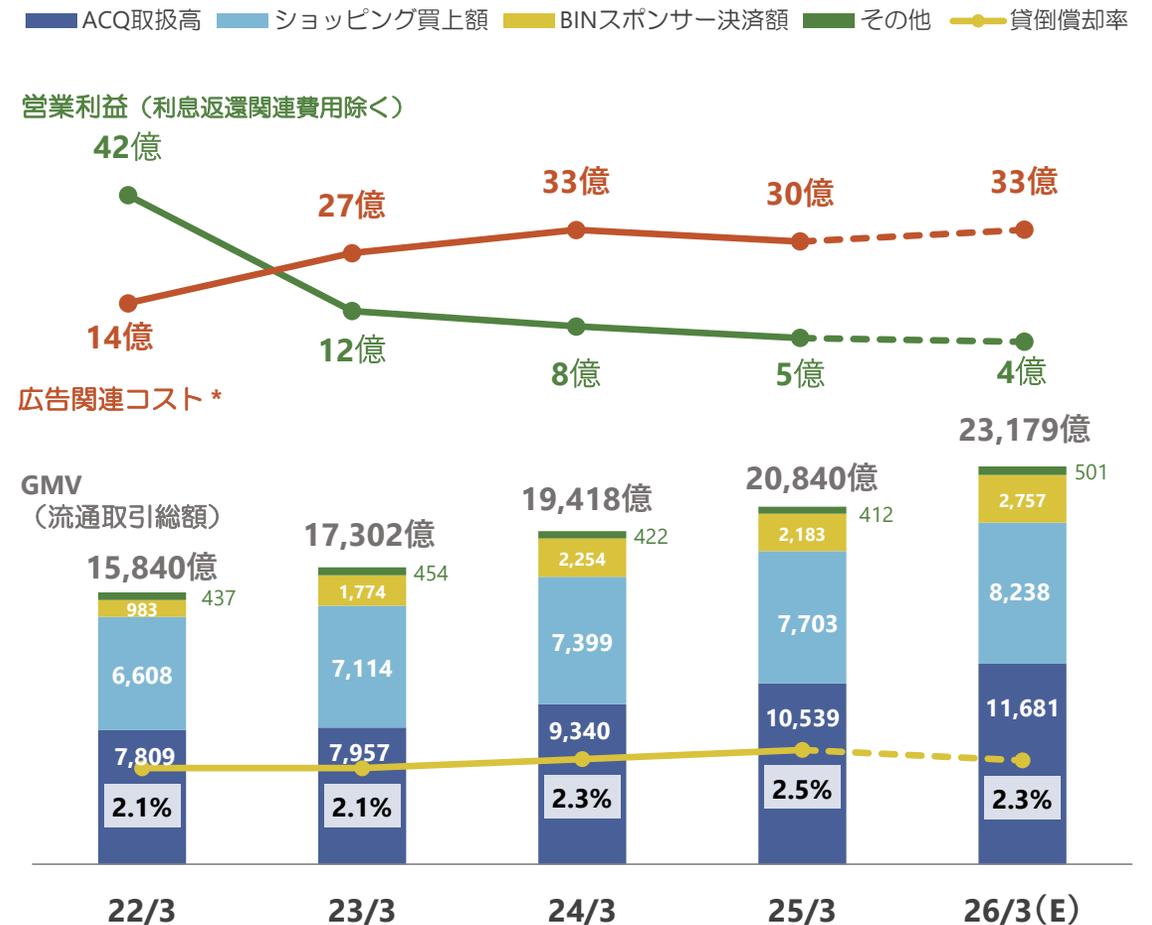


※ AGビジネスサポートより、診療報酬等担保ローン事業を2021年7月に承継
 (診療報酬等担保ローン・・・診療報酬等を担保とした医療機関や介護事業者等向けのローン)

【クレジット/ペイメント】ライフカード（クレジット）

- 長期継続利用が見込まれる若年層をメインターゲットに、広告関連コストを33億を投下予定（22/3比+19億円）
- GMVは継続して拡大、金利収入のあるリボ・分割残高が増加し、トップラインも拡大

(百万円)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
GMV						
流通取引総額（億円）	9,955	20,840	10,923	9.7%	23,727	23,179
リボ・分割 割賦売掛金残高（億円）	549	557	584	6.4%	-	-
新規発行枚数（千枚）	241	516	204	-15.6%	-	-
プロパーカード 稼働会員数（千人）	580	573	573	-1.2%	-	-
営業収益	19,032	38,545	19,588	2.9%	41,600	40,500
営業利益	400	592	201	-49.7%	200	400
経常利益	439	682	295	-32.6%	200	500
当期純利益	665	772	-58	-	200	60

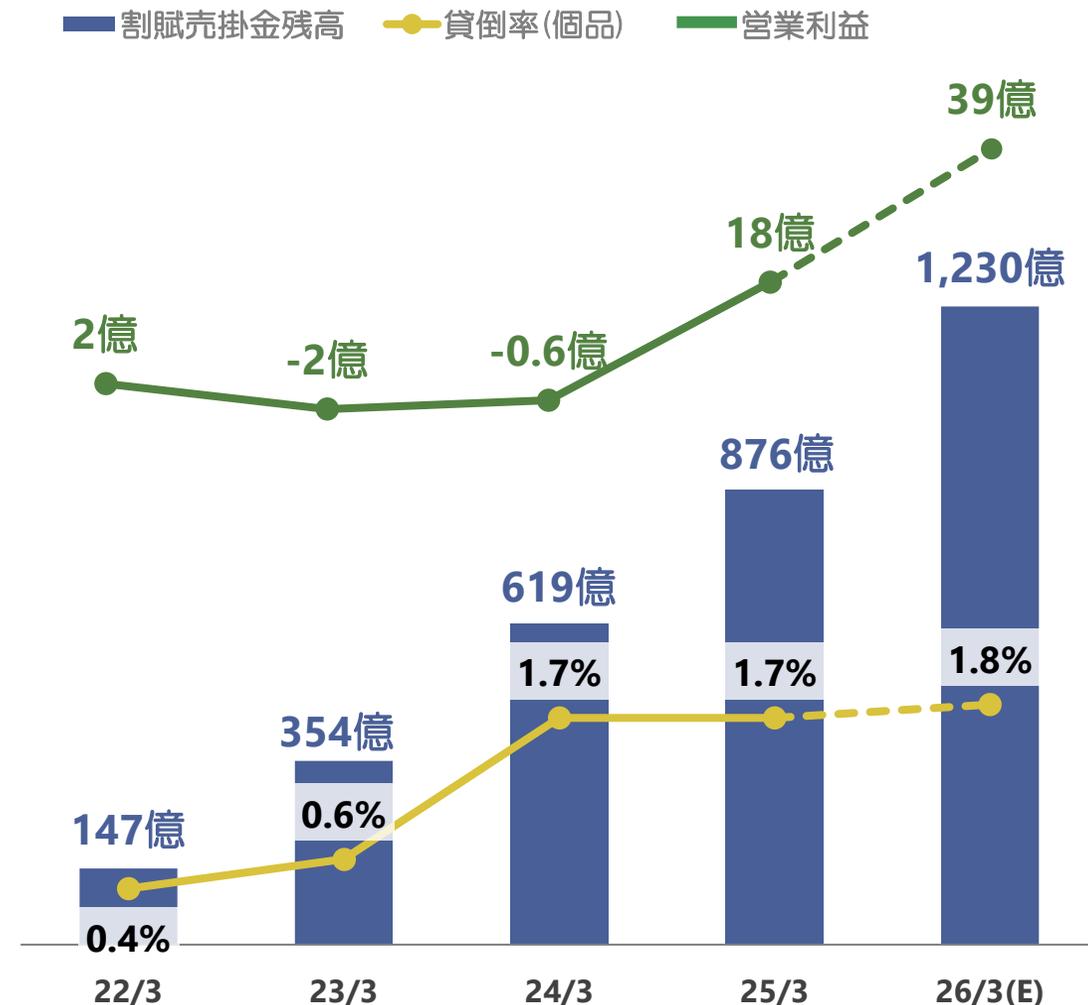


* 広告宣伝費と関連する販売促進費の合算

【クレジット/ペイメント】AGペイメントサービス（個別信用購入あっせん）

- 未稼働加盟店を精査・主要加盟店の取扱増を主要因に割賦売掛金残高、利益計画を上方修正
- 当年度計画は、貸倒関連費用の構造及び基準適正化を見込み、進捗オンライン

(百万円)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
割賦売掛金残高 (個別信用購入あっせん)	77,585	87,699	101,469	30.8%	113,400	123,000
加盟店数 (個別信用購入あっせん)	3,920	3,488	3,483	-11.1%	-	-
営業収益	3,659	7,806	4,666	27.5%	9,900	10,400
営業利益	666	1,856	1,142	71.4%	3,800	3,900
経常利益	667	1,858	1,143	71.2%	3,800	3,900
当期純利益	455	1,286	821	80.5%	2,700	2,700

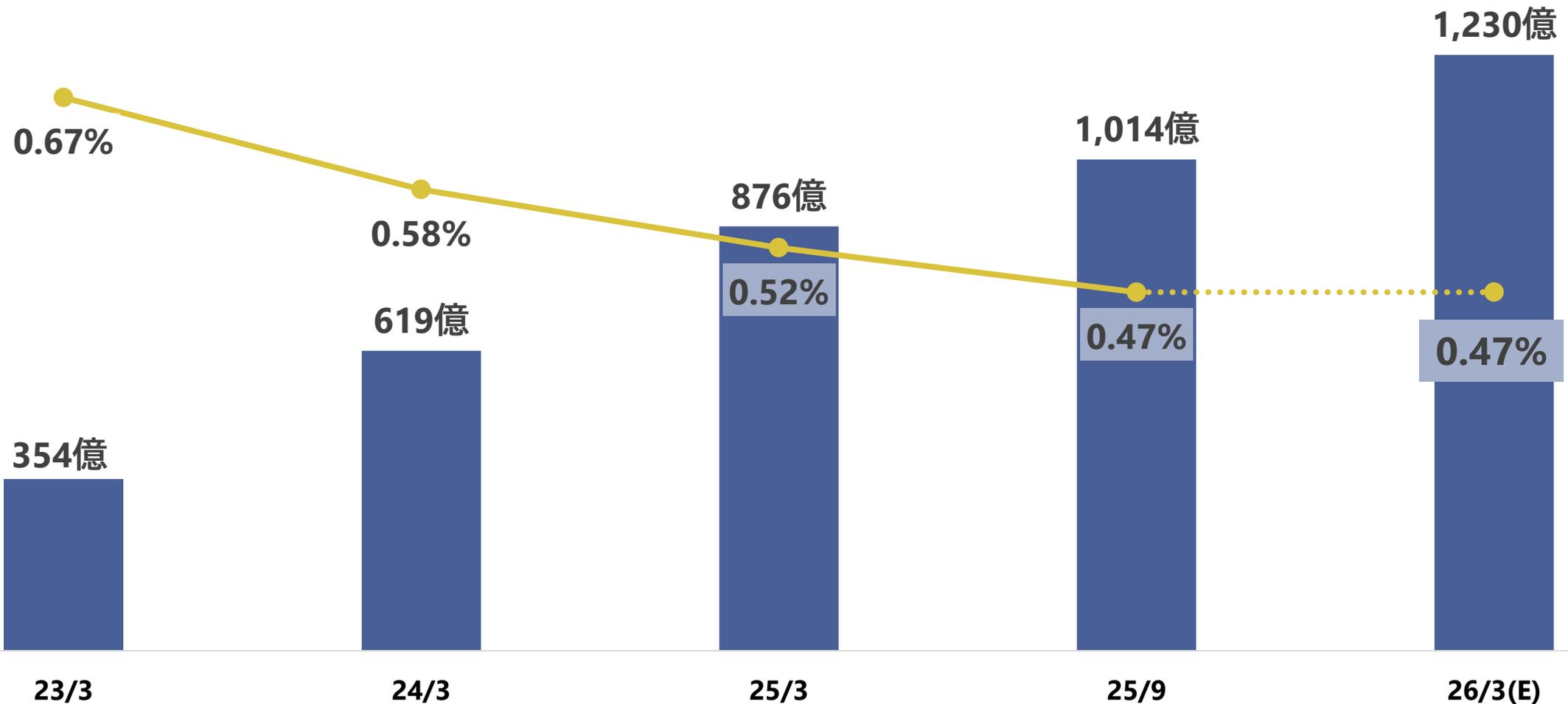


2024年1月にAGギャランティーとAGミライバライが合併、AGペイメントサービスに名称変更
過去実績は、合併ベースで表記

【クレジット/ペイメント】AGペイメントサービス 割賦売掛金残高と3カ月延滞率

■ 割賦売掛金残高(個別信用購入あっせん)

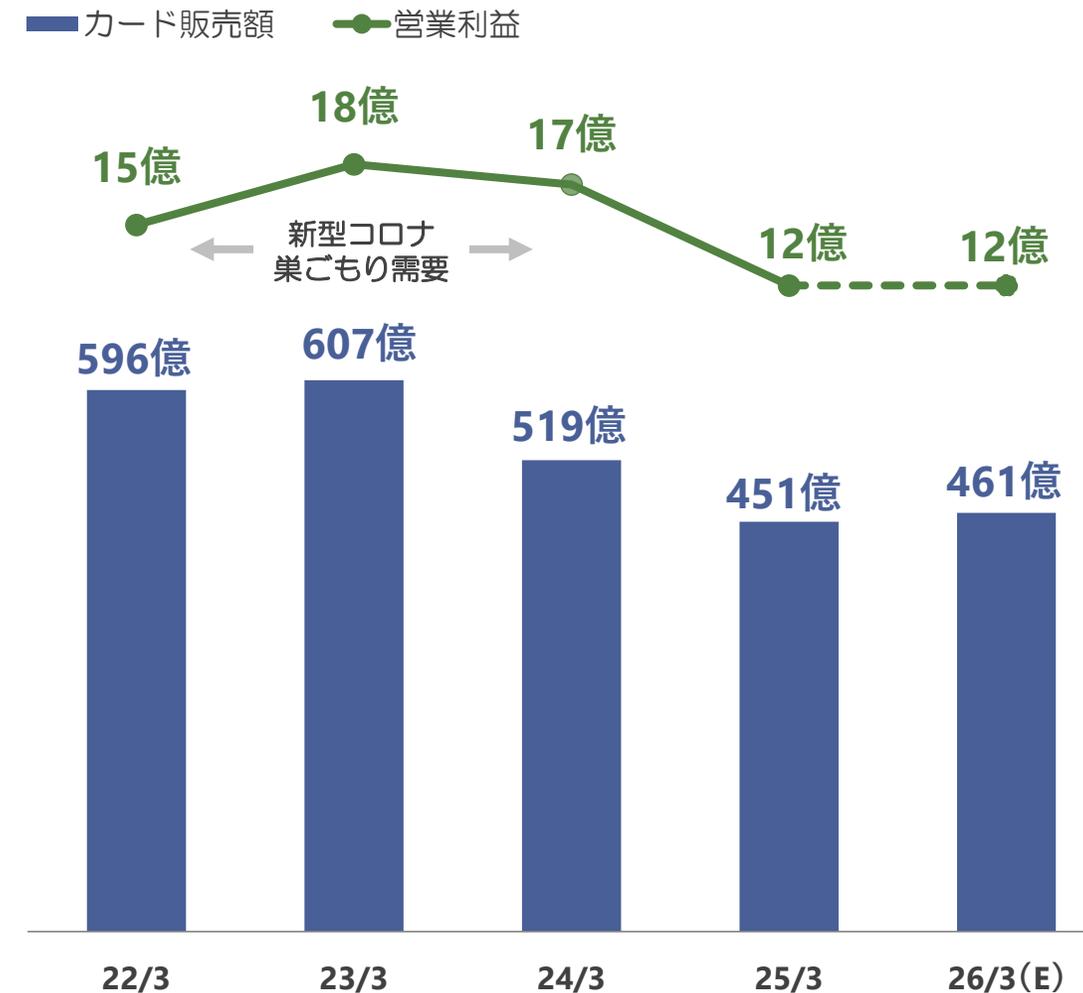
● 3カ月延滞率



【クレジット/ペイメント】ビットキャッシュ（プリペイド電子マネー）

- 加盟店管理の精査等を踏まえ、カード販売・決済額の計画を修正
- 支払手数料等のコスト減少で利益計画は概ねオンライン

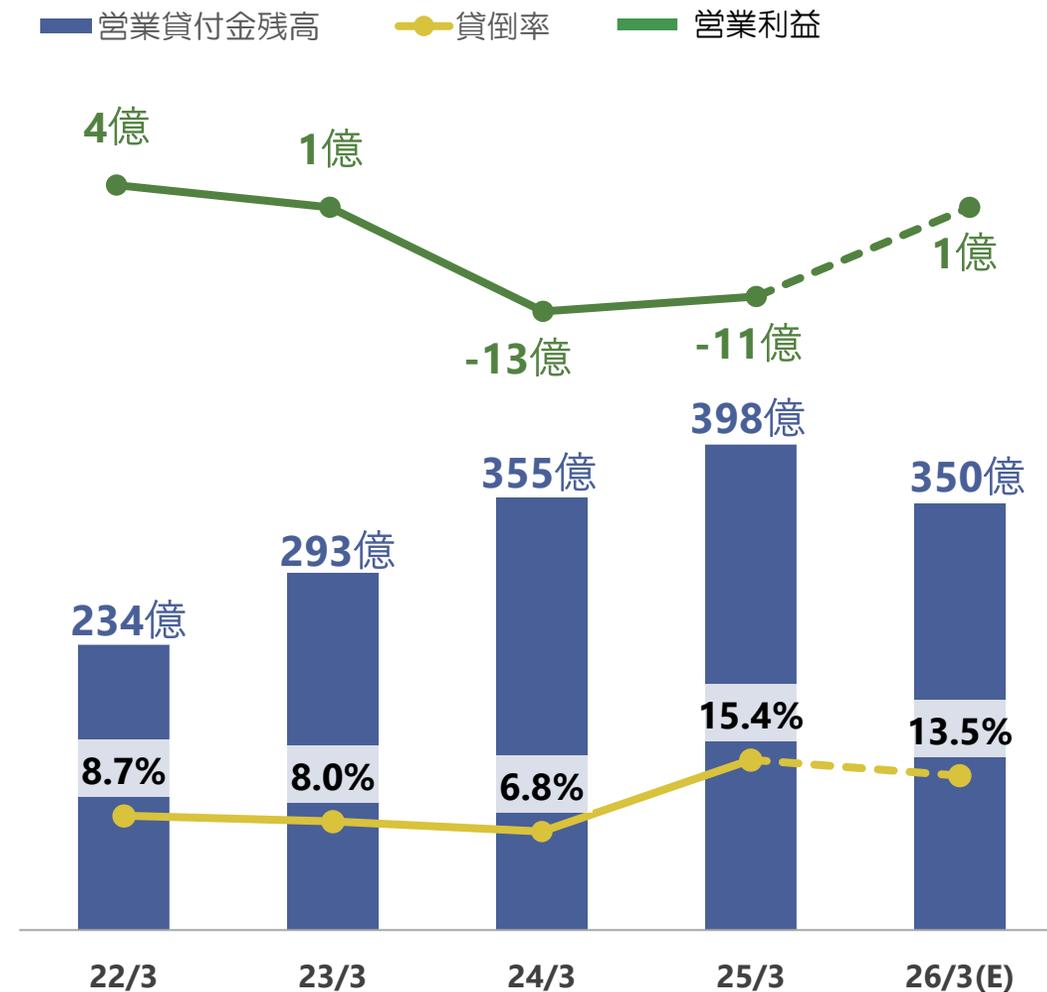
(百万円)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
加盟店数	1,368	1,304	1,340	-2.0%	-	-
カード販売額	23,499	45,196	22,354	-4.9%	50,700	46,100
決済額	23,483	45,319	22,434	-4.5%	50,300	46,000
営業収益	2,217	4,254	2,152	-2.9%	4,700	4,300
受取手数料	1,988	3,830	1,916	-3.7%	-	-
営業利益	656	1,211	626	-4.5%	1,300	1,200
経常利益	645	1,220	632	-1.9%	1,300	1,300
当期純利益	418	785	397	-5.0%	800	800



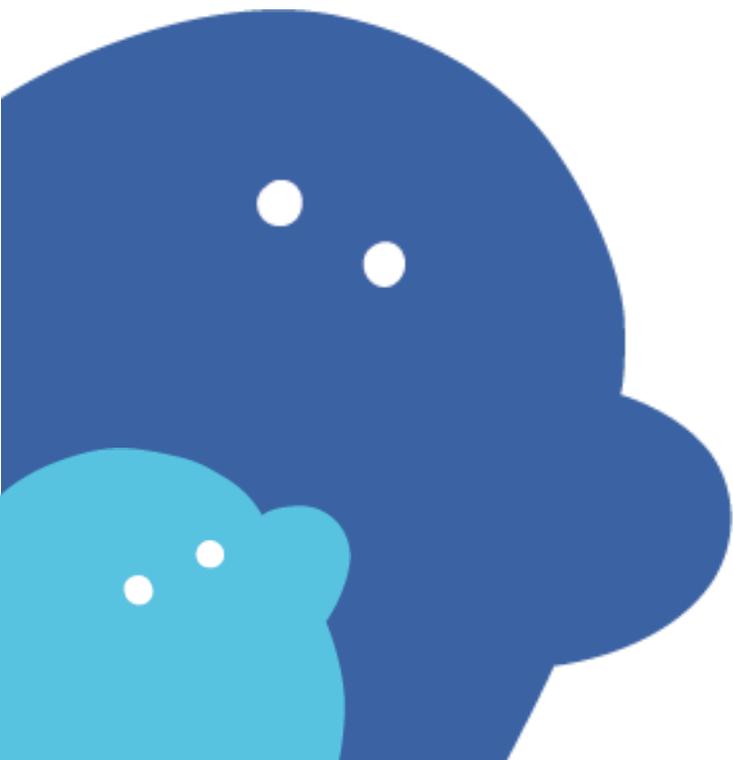
【海外】AIRA&AIFUL（個人向けローン/タイ王国）

- 店舗コストや人件費など、固定費削減による利益率の改善により、2Qは単月黒字を計上
- 優良債権に絞った貸付と回収環境の良化により、修正計画では黒字を見込む

(百万円) (百万バーツ)	24/9	25/3	25/9	YoY	26/3 当初計画	26/3 修正計画
営業貸付金残高	38,143 (8,748)	39,864 (8,591)	37,039 (8,342)	-2.9% (-4.6%)	34,300 (7,800)	35,900 (8,200)
新規獲得件数（件）	20,516	43,103	8,924	-56.5%	24,000	24,000
人員数（人）	623	633	353	-270	-	-
店舗数（店）	45	43	20	-25	-	-
営業収益	3,996 (949)	8,395 (1,952)	4,388 (990)	9.8% (4.4%)	8,400 (1,900)	8,800 (1,900)
営業利益	-856 (-203)	-1,175 (-273)	-189 (-42)	- (-)	-600 (-130)	100 (40)
経常利益	-854 (-202)	-1,171 (-272)	-187 (-42)	- (-)	-600 (-130)	100 (40)
当期純利益	-706 (-167)	-1,034 (-240)	-197 (-44)	- (-)	-800 (-180)	10 (0)
為替レート (BS)	4.36円	4.64円	4.44円	-	4.40円	4.36円
(PL)	4.21円	4.30円	4.43円	-	4.42円	4.45円



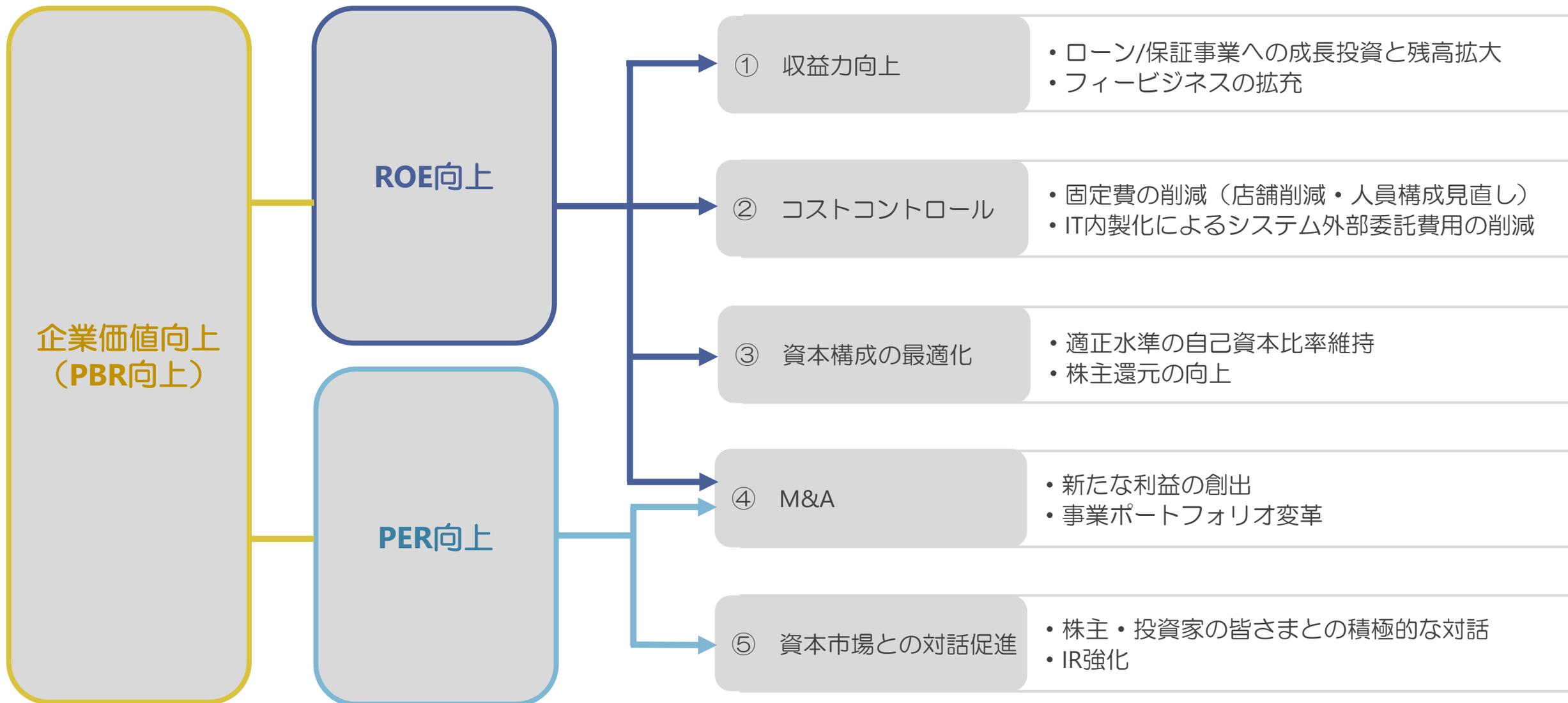
5 參考資料





企業価値向上に向けた取り組み

中期経営計画の各種施策を実現することで、ROEとPERの両指標を向上させる





M&Aのターゲット

- 親和性があり、ロールアップなどでバリューアップが見込める先
- 金融事業を主軸にグループのノウハウが活用できる先

国内・海外

M&A ターゲット

✓ ノンバンク領域全般

- ローン事業 + 保証事業
- ペイメント事業
- その他金融事業領域

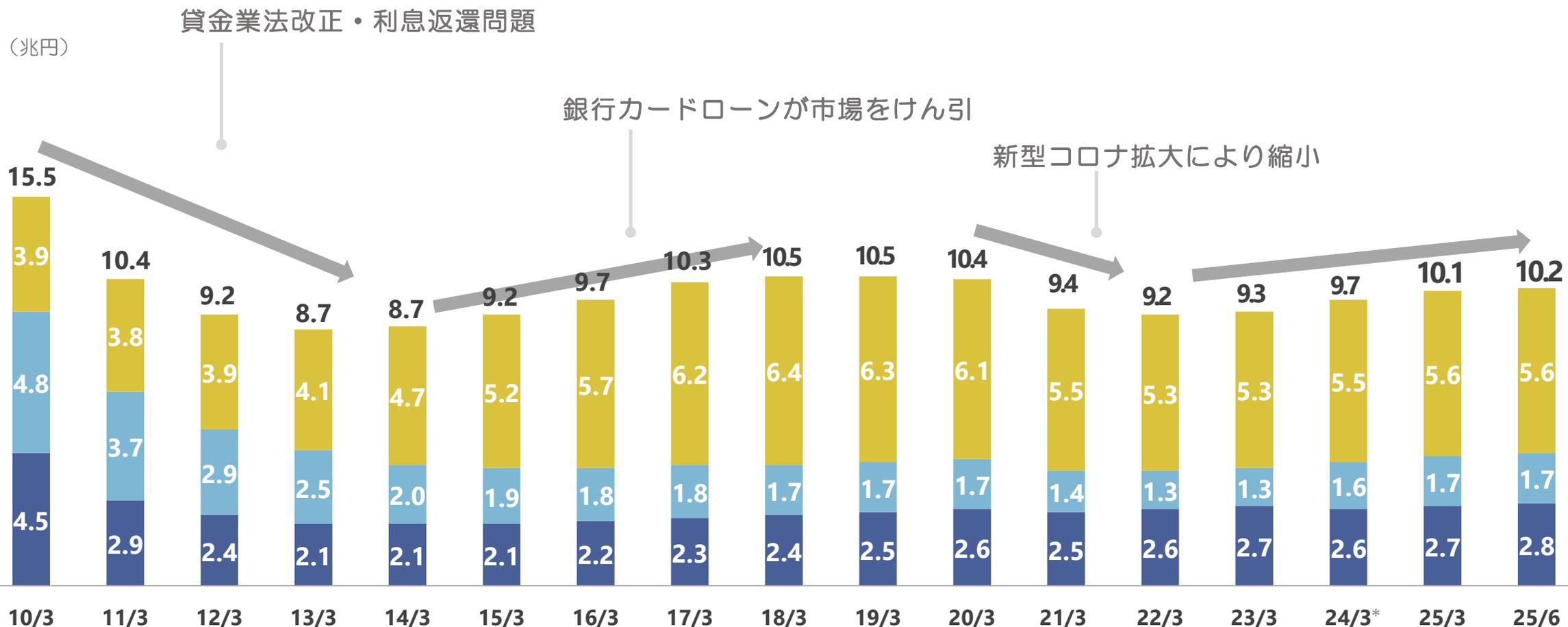
✓ 既存ビジネスへの親和性

- SES事業
- 不動産関連事業
- その他親和性のある事業



無担保ローン市場

- 金融機関
- クレジットカード
- 消費者金融



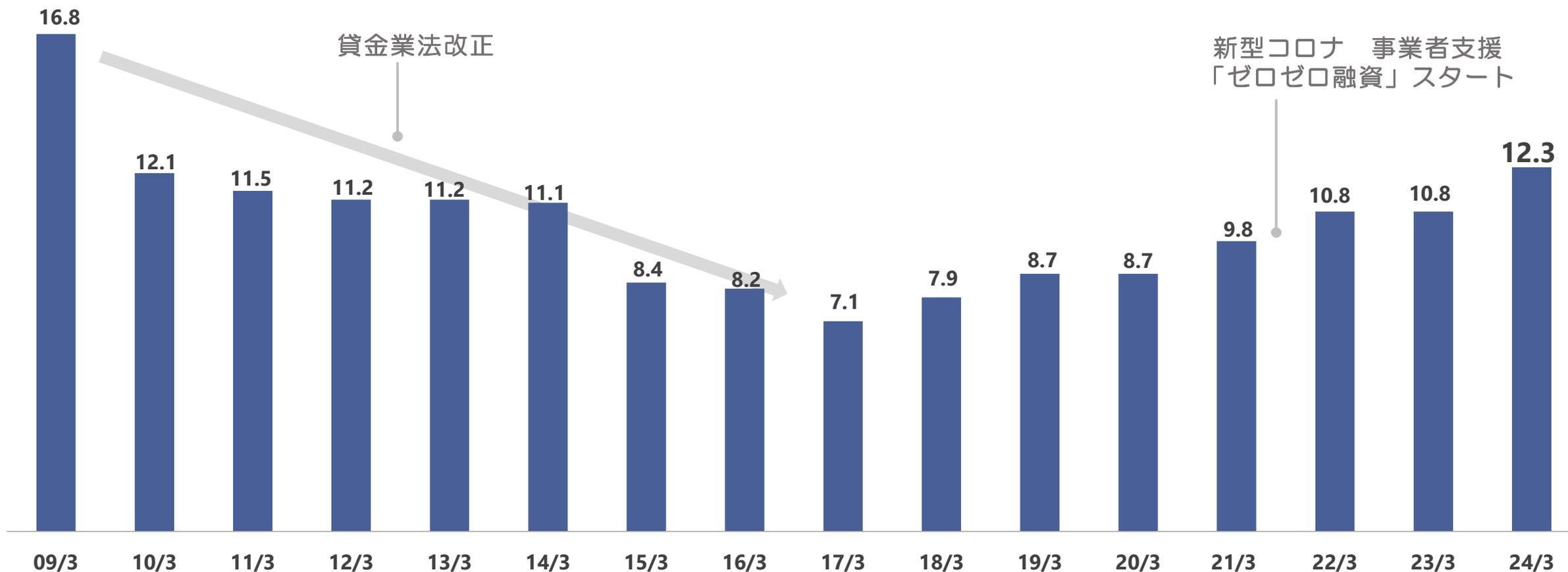
* 2023/7 約3,000億円の残高を保有する消費者金融業者がクレジットカード業態に移行

出典：消費者金融・クレジットカード：日本貸金業協会統計、金融機関：日本銀行統計（国内銀行及び信用金庫の個人向けカードローン残高）



事業者ローン市場

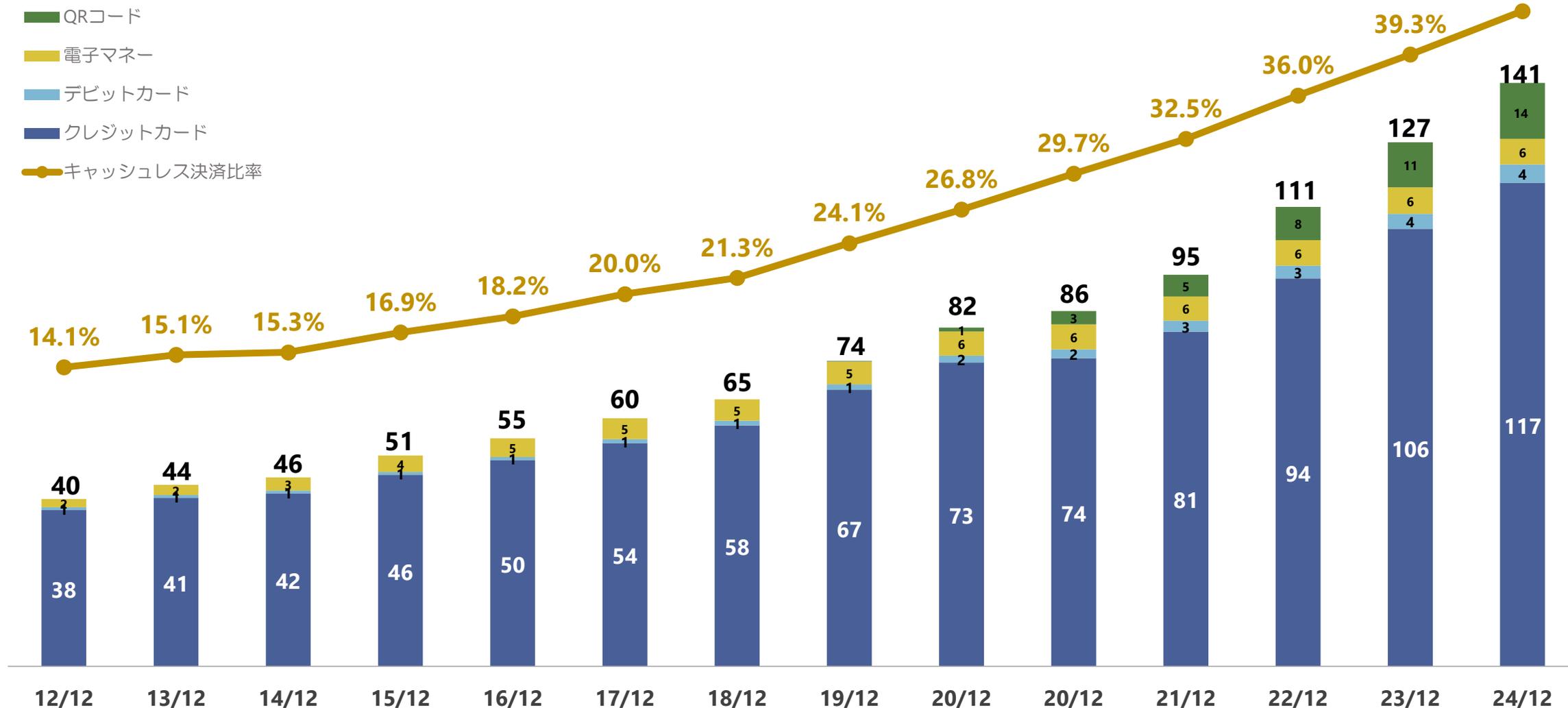
(兆円)





キャッシュレス市場

(兆円)





アイフルグループの事業

ローン・保証



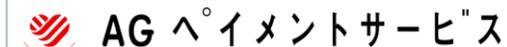
事業者ローン



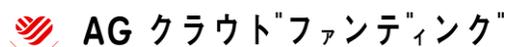
クレジット・電子マネー



個別信用購入斡旋・後払い決済



クラウドファンディング



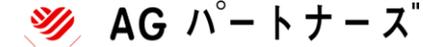
ベンチャーキャピタル



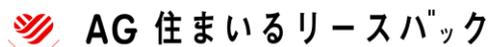
サービサー



企業再生



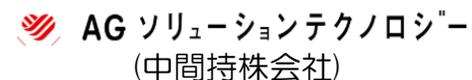
リースバック・家賃保証



少額短期保険



システム・エンジニアリング・サービス



海外



(インドネシア共和国)



(フィリピン共和国)





— 本資料に関する注意事項 —

本資料の数値のうち、当社グループの計画・方針その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社グループが把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。

これらの予想値は、リスクや不確定要因を内包するものであり、実際の業績は、諸々の要因により、これらの予想値と異なってくる可能性がありますのでご留意ください。

